
熊本県立美術館年報

■令和3年度(2021年度)■

はじめに

日頃から熊本県立美術館の運営に御支援と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。当館の施設概要や令和3年度(2021年度)の展覧会事業、美術品等の収集活動、教育普及活動などの概要についてまとめましたので御高覧いただければ幸いです。

令和3年(2021年)は、古今東西の美術を網羅する「総合美術館」である当館の開館45周年の節目にあたる年であり、展覧会の充実を図りました。

開館45周年を記念する「感謝を込めて魅せます！美術館コレクション」展では、国宝《太刀 銘豊後国行平作(通称「古今伝授の太刀」)や国重要文化財である菱田春草《落葉》等を展示し、コレクションの魅力に迫りました。

また、漫画『ONE PIECE』と県が連携した『ONE PIECE 熊本復興プロジェクト』の一環として、企画展「熊本地震から5年・復興祈念展 集う！麦わらの色紙たち」を開催し、熊本地震からの復興にも一役買うことができました。

また、「エビハラがいた時代展」では、熊本の美術界のみならず、地域文化の活性化にも大いに貢献した画家・海老原喜之助に焦点を当て、熊本に多大な影響を及ぼし続けた同氏の活動の軌跡を辿りました。海老原喜之助の事績や地域と画家との結びつきを丁寧にたどる本企画は、まさに熊本県立美術館としての使命ともいえ、この企画及び図録内の論文は、第33回倫雅美術奨励賞を受賞しました。

新型コロナウイルス感染症により会期中途での休館や老朽化した本館の改修工事のための休館などで、開館日は通常の2分の1、およそ6か月にとどまりましたが、本館の休館期間中も、別棟展示室で「よくわかる『工芸』のみかた」を開催するなど、県民の皆様にも美術鑑賞の機会を提供いたしました。

その他、平成20年度から実施している永青文庫所蔵品の修復事業や調査事業などの後世への保存・継承活動にも継続して取り組みました。

教育普及活動でも、美術館へ来る機会が少ない遠隔地の小中学校の児童・生徒を、美術館へ招待するミュージアムバス事業を、新たにスタートさせるなど、充実強化を図り、多くの子どもたちに喜んでもらうことができました。

築45年を経て、施設の老朽化も課題であり、平成27年度から段階的に実施している大規模改修工事として、1階展示室の床や正面玄関床・外壁タイルの張替え、装飾古墳室等の照明のLED化など、施設の長寿命化を図りました。

併せて、来館者の利便性向上やインターネット美術館の推進、将来的なキャッシュレス決済の導入に向けて、Wi-Fi環境整備工事も行っております。

社会情勢が目まぐるしく変化する中、ニーズの多様化に伴い、美術館に求められる役割も多様化しています。今後とも、当館の基本理念「熊本の宝を守り活用し、誰もが楽しめる美術館」の下、当館が築いてきた45年の歴史を守り、いつの時代も変わらない美術館本来の役割を意識しつつ、新たなニーズにも対応しながら、多彩な魅力に満ちた美術館をめざして参ります。

皆様方の更なる御支援と御協力を心からお願い申し上げます。

熊本県立美術館長 早田 章子

目 次

I 沿 革	1
II 施設・設備	
■施設・設備の概要	5
III 事業の概要	
■令和3年度(2021年度)年間スケジュール	9
■展覧会記録	10
■浜田知明室	25
■装飾古墳室	26
■教育普及	27
■その他の活動	30
IV 資 料	
■観覧者状況及び事業報告	34
■収蔵品の概要	41
■購入・寄贈図書目録	49
■委員会等名簿	50
■その他	52

I 沿革

昭和	43年	3月	25日	県議会において文化資料調査費予算 50 万円可決
〃	43年	5月	1日	「熊本県文化資料調査実施要項」制定
〃	44年	3月	3日	松本喜八氏兄弟から亡父（嘉平次氏）の遺志により美術館建設基金として1千万円寄付
〃	44年	7月	1日	「熊本県立美術館本館基金条例」交付 1億円の積み立て
〃				県議会において美術館建設調査費予算 100 万円可決
〃	44年	8月	6日	「熊本県立美術館建設促進協力会」発足
〃	45年	5月	10日	「昭和 44 年度熊本県立美術館建設調査報告書」作成
〃	45年	6月	2日	「熊本県立美術館建設準備委員会設置要項」制定
〃	45年	12月	8日	建設準備委員会より「美術館建設に関する答申書」の提出
〃	46年	3月	20日	「熊本県立美術館建設委員会」発足
〃				「熊本県立美術館建設準備室」設置
〃	46年	5月	17日	美術館建設委員会で美術館敷地を現在地に選定
〃	46年	9月	20日	建設委員会より「美術館収集に関する意見書」の提出
〃	46年	9月	30日	「装飾古墳調査報告書」作成
〃	47年	4月	1日	前川国男建築設計事務所に美術館設計委託
〃	47年	8月	31日	熊本城二の丸史跡調査完了
〃	47年	10月	31日	美術館基本設計完了
〃	48年	3月	31日	美術館実施設計完了
〃				美術館建設敷地の樹木調査完了
〃	48年	9月	17日	装飾古墳レプリカ制作委託
〃	48年	12月	8日	チブサン古墳石屋形模型製作委託
〃	49年	5月	17日	美術館建設着工
〃	50年	5月	24日	美術館定礎
〃	50年	7月	1日	「熊本県立美術館条例」公布
〃	50年	9月	14日	美術館本体工事完了
〃	51年	1月	31日	美術館外構工事完了
〃	51年	2月	24日	美術館工事落成
〃	51年	3月	4日	美術館開館
〃	52年	1月	24日	美術館別館（多目的室棟）着工
〃	52年	9月	10日	別館（多目的室棟）竣工
〃	54年	6月	28日	「熊本県美術品取得基金条例」公布
〃	60年	4月	1日	美術館条例（観覧料）の改正
〃	61年	3月	25日	美術館屋外排水設備改修工事完了
〃	61年	6月	4日	第 35 回全国美術館会議総会開催
平成	元年	4月	1日	美術館条例（観覧料等）の改正
平成	2年	4月	1日	美術館条例（観覧料等）の改正
〃	3年	10月	1日	美術館分館着工
〃	4年	5月		野田壁画室工事完了
〃	4年	10月	1日	美術館条例（使用料）の改正

平成	4年	10月	9日	美術館分館工事完了
〃	4年	10月	20日	美術館分館開館
〃	4年	12月	19日	収蔵庫増設工事着工
〃	4年	12月	27日	やさしいまちづくり事業（エレベーター増設等）工事着工
〃	5年	4月	1日	美術館条例（観覧料）の改正
〃	5年	10月	15日	やさしいまちづくり事業（エレベーター増設等）工事完了
〃	6年	1月	3日	第4、第5収蔵庫増設工事完了
〃	8年	3月		ハイビジョンミュージアムシステム設置
〃	8年	4月	1日	美術館条例（使用料）の改正
〃	8年	11月		美術館本館空調設備、展示室改修工事着工
〃	9年	8月		美術館本館空調設備、展示室改修工事完了
〃	10年	4月	1日	美術館条例（観覧料）の改正
〃	11年	4月	1日	美術館条例（使用料）の改正
〃	11年	6月	28日	障害者の社会的活動への参加の促進のための関係条例の整備に関する条例公布（観覧料減免）
〃	11年	8月	18日	美術館利用規則（休館日等）の改正
〃	11年	10月	23日	天皇皇后両陛下下行幸啓
〃	12年	6月	21日	「熊本県立美術館振興計画策定委員会」設置
〃	13年	3月		開館25周年記念「蒙古襲来絵詞展」開催
〃	13年	4月	1日	美術館条例（使用料）の改正
〃	14年	1月	16日	「熊本県立美術館振興計画策定委員会」より館長に建議
〃	14年	1月	31日	館長から美術館協議会に諮問 美術館振興計画として決定「ミュージアムプランくまもと21 ～会館25年100の提案～」
〃	14年	2月		美術館本館屋上防水工事着工
〃	14年	3月		美術館本館屋上防水工事完了
〃	16年	2月	2日	美術館本館渡り廊下、屋外喫茶フロアー通路スロープ化工事着工
〃	16年	3月	17日	美術館本館渡り廊下、屋外喫茶フロアー通路スロープ化工事完了
〃	17年	12月	8日	非常用自家発電機更新工事着工
〃	18年	3月	17日	非常用自家発電機更新工事完了
〃	18年	8月		開館30周年記念「エコール・ド・パリ展」開催
〃	18年	10月		開館30周年記念「熊本県立美術館名品展—精華—」開催
〃	18年	11月	1日	美術館利用規則（開館時間）の改正
〃	18年	11月	10日	美術館本館 第6回JIA（日本建築家協会）25年賞大賞受賞
〃	19年	1月	8日	美術館分館展示室1、2、3クロス塗装工事完了
〃	19年	1月	30日	美術館本館1、2階展示会場クロス張り替え工事着工
〃	19年	3月	30日	美術館本館1、2階展示会場クロス張り替え工事完了
〃	19年	6月	25日	永青文庫展示室整備建築工事着工
〃	19年	10月	3日	美術館条例（使用料、観覧料等）の改正（H20.4.25施行）
〃	19年	11月	26日	美術館本館搬入用エレベーター改修工事着工
〃	19年	12月	18日	美術館本館講堂床・電灯設備改修工事着工
〃	20年	2月	29日	永青文庫展示室整備建築工事完了
〃	20年	3月	14日	美術館本館講堂床・電灯設備改修工事完了

平成 20 年	3 月 17 日	美術館本館搬入用エレベーター改修工事完了
〃	20 年 4 月 25 日	細川コレクション永青文庫展示室開館
	〃	開館記念展「細川歴代の文と武と美」開催 (第 1 部、第 2 部：4. 25～12. 24)
〃	21 年 9 月 17 日	美術館本館冷凍機オーバーホール工事着工
〃	21 年 10 月 9 日	美術館条例（指定管理者制度の導入）の改正（H22. 4. 1 施行）
〃	21 年 10 月 24 日	美術館本館冷凍機オーバーホール工事完了
〃	21 年 12 月 24 日	美術館本館氷蓄熱槽ほか空調設備整備工事着工
〃	21 年 12 月 30 日	美術館本館氷蓄熱槽ほか空調設備整備工事完了
〃	22 年 4 月 1 日	美術館分館 指定管理者制度導入
〃	22 年 4 月 28 日	美術館条例（観覧料の減免）の改正
〃	22 年 12 月 22 日	美術館条例（利用の許可の基準等）の改正（H23. 4. 1 施行）
〃	23 年 8 月 18 日	美術館永青文庫展示室拡充改修工事着工
〃	24 年 2 月 28 日	美術館トイレ改修工事着工
〃	24 年 3 月 6 日	美術館条例（協議会）の改正（H24. 4. 1 施行）
〃	24 年 3 月 28 日	美術館トイレ改修工事完了
〃	24 年 3 月 30 日	美術館永青文庫展示室拡充改修工事着工
〃	24 年 10 月 31 日	美術館本館非常灯用直流電源装置修繕工事着工
〃	25 年 1 月 15 日	美術館本館非常灯用直流電源装置修繕工事完了
〃	25 年 3 月 15 日	美術館条例施工規則（使用量の返還）の改正（H25. 4. 1 施行）
〃	25 年 12 月 27 日	美術館本館事務室屋上改修工事着工
〃	26 年 3 月 14 日	美術館本館事務室屋上改修工事完了
〃	26 年 3 月 24 日	美術館条例（観覧料、使用量）改正（H26. 4. 1 施行）
〃	26 年 5 月 21 日	美術館本館空調熱源ユニット修繕工事着工
〃	26 年 7 月 9 日	美術館本館空調熱源ユニット修繕工事完了
〃	27 年 1 月 13 日	美術館本館エレベータ改修工事着工
〃	27 年 3 月 9 日	美術館本館エレベータ改修工事完了
〃	27 年 10 月 29 日	美術館本館大規模改修工事（Ⅰ期）着工
〃	28 年 3 月 18 日	美術館本館大規模改修工事（Ⅰ期）完了
〃	28 年 4 月 8 日	開館 40 周年記念「大熊本県立美術館展」開催
〃	28 年 4 月 14 日	平成 28 年熊本地震（前震）発生
〃	28 年 4 月 15 日	美術品等の保護と施設設備の安全確認のため、当面臨時休館とする
〃	28 年 4 月 16 日	平成 28 年熊本地震（本震）発生
〃	28 年 5 月 28 日	安全確認の目処がつき、再開館へ
〃	28 年 10 月 11 日	美術館本館大規模改修工事（Ⅱ期）着工
〃	28 年 10 月 31 日	熊本地震により被災した美術品等の修復作業開始
〃	29 年 3 月 13 日	美術館本館大規模改修工事（Ⅱ期）完了
〃	29 年 7 月 15 日	開館 40 周年「大熊本県立美術館展リターンズ」開催
〃	29 年 8 月 7 日	美術館本館大規模改修工事（Ⅲ期）着工
〃	30 年 3 月 23 日	美術館本館大規模改修工事（Ⅲ期）完了
〃	30 年 8 月 4 日	永青文庫展示室開設 10 周年記念特別展「細川ガラシャ」開催
〃	31 年 3 月 22 日	美術館条例（観覧料）改正（H31. 10. 1 施行）

平成 31 年	4 月 13 日	「熊本地震から 3 年 熊本地震と文化財」開催
平成 31 年	4 月 13 日	「熊本地震から 3 年 熊本地震と文化財」開催
令和 元年	7 月 18 日	美術館本館大規模改修工事（Ⅳ期）着工
		2 階展示ケース内空調・照明、多目的トイレ改修他
〃	元年 10 月 26 日	熊本城大天守外観復旧記念「熊本城と武の世界」開催
〃	2 年 2 月 28 日	新型コロナウイルス感染症の影響を受け臨時休館
〃	2 年 4 月 15 日	美術館本館大規模改修工事（Ⅳ期）完了
〃	2 年 5 月 7 日	新型コロナウイルス感染症対策の制限解除を受け開館
〃	3 年 2 月 15 日	美術館本館大規模改修工事（Ⅴ期）着工
〃	3 年 3 月	「熊本県立美術館運営ビジョン（R2～5 年度）策定
〃	3 年 4 月 3 日	開館 45 周年「感謝を込めて魅せます！美術館コレクション」開催
〃	3 年 4 月 24 日	新型コロナウイルス感染症感染拡大による県有施設の休館要請を受け休館（R3. 6. 27 まで）
〃	3 年 6 月 29 日	休館要請解除に伴い開館
〃	3 年 12 月 15 日	美術館本館大規模改修工事（Ⅴ期）完了

II 施設・設備

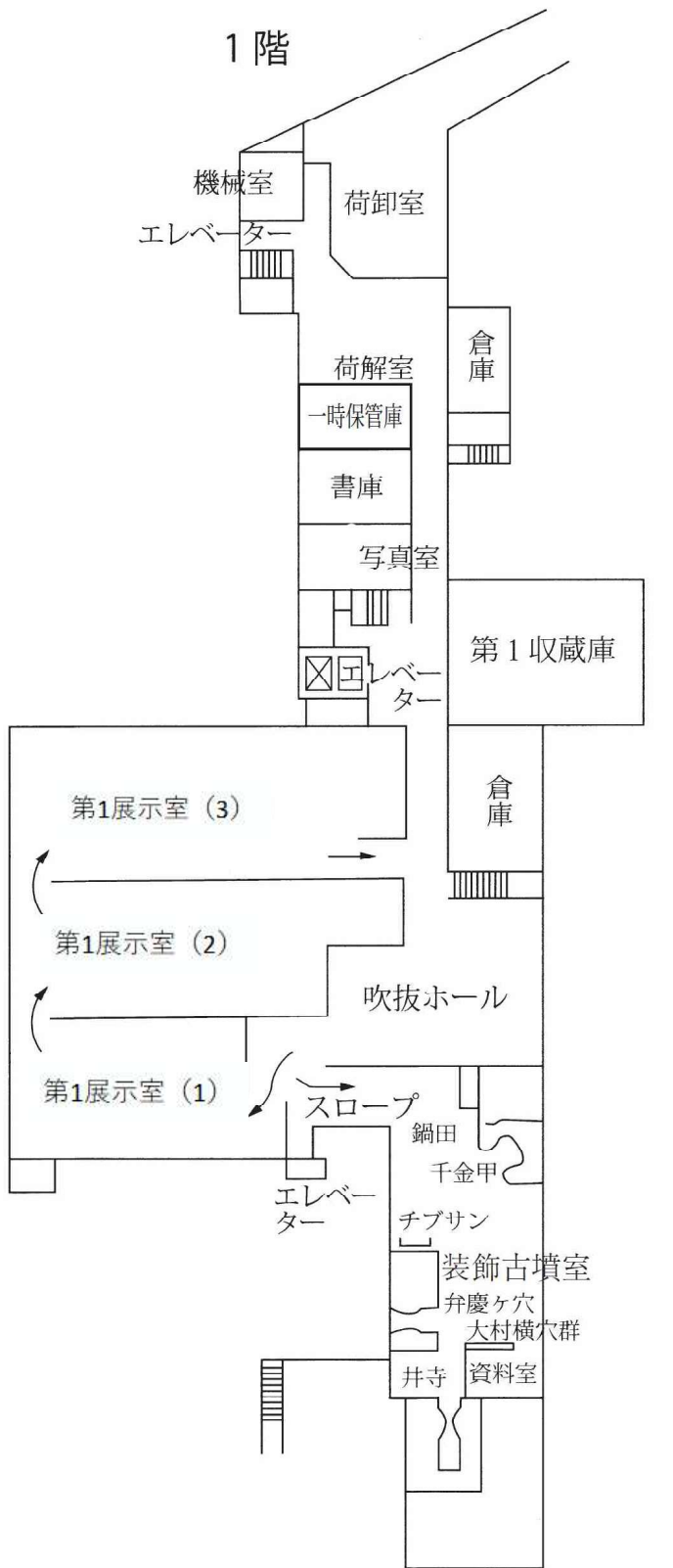
■施設・設備の概要

		本館	分館
所在地		熊本市中央区二の丸2番	熊本市中央区千葉城町2番18号
設計監理		(株)前川国男建築設計事務所	トレース&ラペニア・大和設計共同体
施 工 業 者	建築	(株)間組「酒井建設工業(株)」	浅沼組・坂口建設建設工事共同企業体
	電気	(株)九州電気工事「村上電気工事(株)」	太陽電気(株)
	空調	(株)大阪電気暖房「協電機工(株)」	上田商会・三祐建設建設工事共同企業体
	衛生	(株)日栄工業「(株)西山商会」	広域設備工業(株)
工期		昭和49年5月17日～昭和51年1月31日 「平成4年12月19日～平成6年1月3日」(増設)	平成3年10月1日～平成4年10月9日
面 積	敷地面積	14,200.00㎡	4,071.43㎡
	建築面積	3,793.65㎡	1,797.15㎡
	延床面積	7,942.85㎡	5,084.62㎡
構 造	造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
		地下1階、地上3階	地下1階、地上4階、塔屋1階
仕 上	外壁	珧炉器質打込タイル	石張り(会津石)
	屋根	軽量コンクリート、保護モルタル	銅版張り
設 備	電気設備	減設協議電力 277KW、自家発電装置	契約電力460KW
	空調設備	空気熱源熱回収型スクルーヒートポンプ 空気熱源氷蓄熱スクルーヒートポンプ 空調15系統	空冷式冷凍機、空調機7、空調機16
	衛生設備	上下水道使用、H29年撤去	上下水道使用、受水槽35㎡
	昇降設備	エレベーター3基(乗用1、荷物用2) ダムウェーター1基	エレベーター2基(乗用1、荷物用1) エスカレーター3基
	その他	屋内消火栓、ハロンガス消火設備	屋内消火栓、ハロンガス消火設備

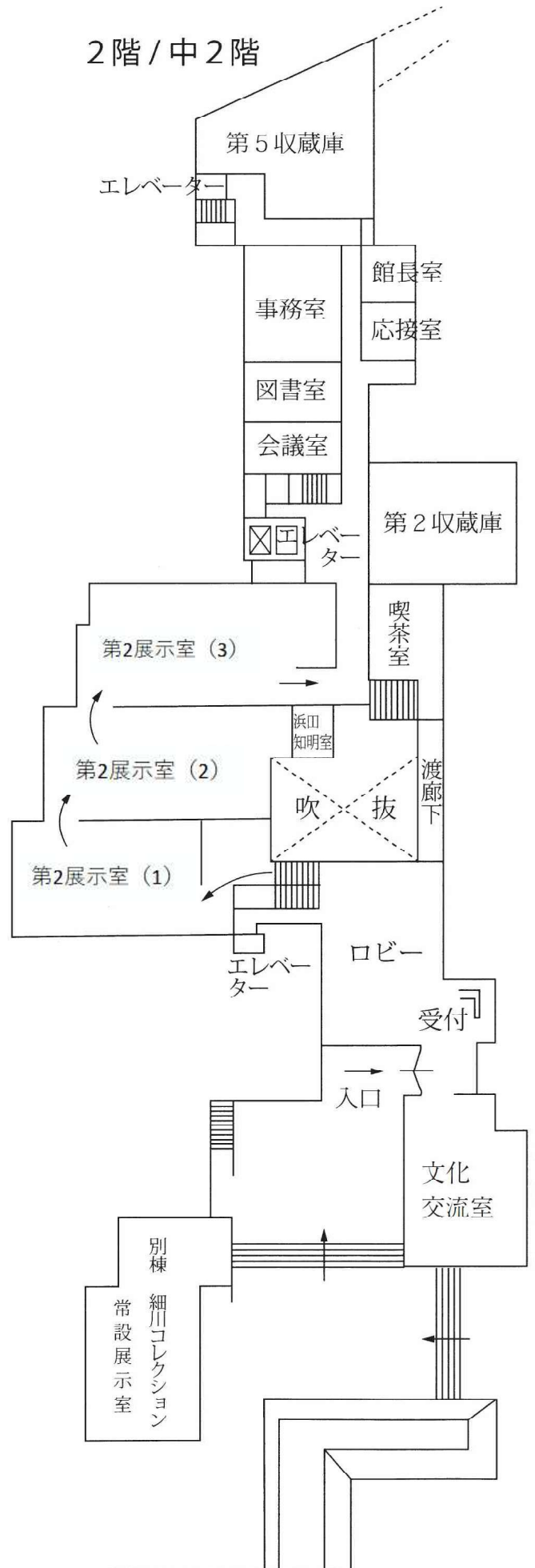
部門別面積

本 館				分 館			
部 門	室 名	室数	面積(m ²)	部 門	室 名	室数	面積(m ²)
展 示 室	装 飾 古 墳 室	1	339.37	展 示 室	展 示 室	3	933.47
	第2展示室	3	902.98		ギャラリー	1	158.20
	第1展示室	3	1072.64		彫 刻 広 場	1	56.00
	小 計		2314.99		小 計		1147.67
収 蔵 室	収 蔵 庫	5	1062.51	収 蔵 室	収 蔵 室	1	149.42
利 用 施 設	文化交流室	1	176.56	利 用 施 設	フロントホール	1	62.30
	ロビー	1	361.69		図 書 室	1	71.44
	吹 抜 ホール	1	361.04		A V 室	1	79.20
	喫 茶 室	1	88.47		喫 茶 室 休 憩 室	1	154.21
	そ の 他	1	43.41		ロッカー室	1	11.56
	小 計		1031.17		救護室/授乳室	1	9.24
別棟 細川コレクション 常設展示室	展示室	1	160.20	利 用 施 設	売 店	1	20.00
	その他	1	186.60		小 計		407.95
	小計		346.80		事 務 室・他		177.99
事 務 管 理	事務室・他		2434.51	事 務 管 理	機 械 室	4	338.80
	機 械 室	2	752.87		倉庫その他		2862.79
	小 計		3187.38		小 計		3379.58
	計		7942.85		計		5084.62

美術館本館見取図

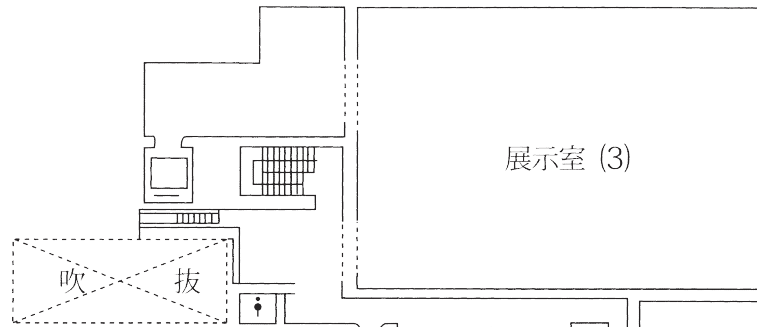


(地下・3階 略)

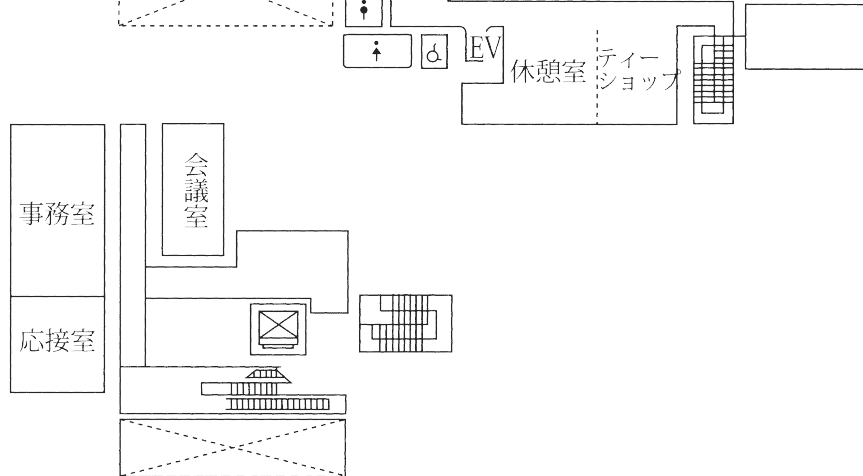


美術館分館見取図

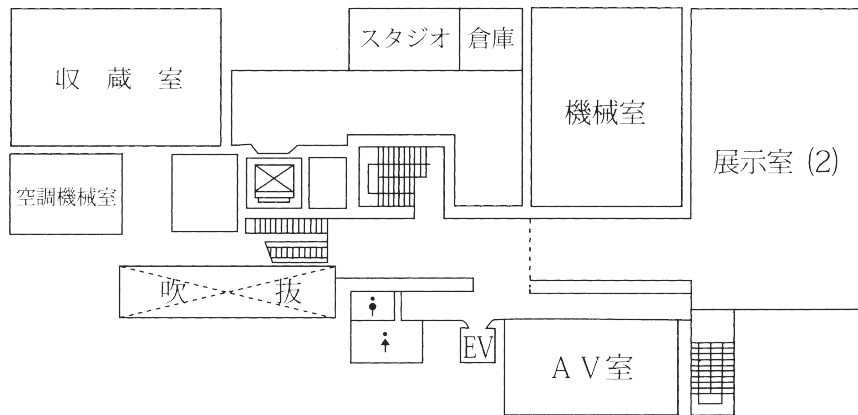
4階



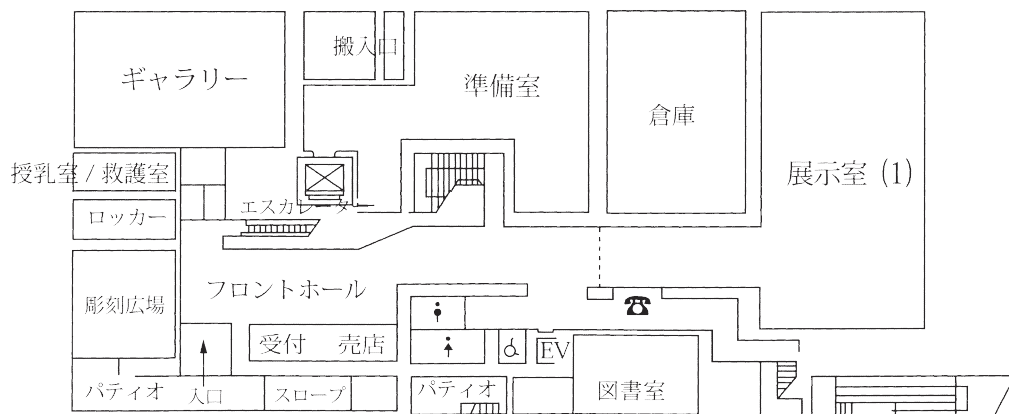
3階



2階



1階



Ⅲ 事業の概要

令和3年度(2021年度)熊本県立美術館年間スケジュール

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月	
本館第2展示室	細川・美術館コレクションⅠ 開館45周年 感謝をこめて魅せます！ 美術館コレクション 4/3～6/27 ※新型コロナウイルス感染症拡大のため休館 4/24～6/28			収蔵庫燻蒸7/5～12	特別展 絢爛豪華！おかやま・林原美術館展 洛中洛外図屏風と大名文化 7/16～9/5			改修工事のため休館 9/13～12/24			美術館コレクションⅣ 春を寿ぐ 1/8～3/13			本館第2展示室
本館第1展示室	熊本地震から5年・復興祈念展 集う！麦わらの色紙たち 4/3～6/20 ※新型コロナウイルス感染症拡大のため休館 4/24～6/28				第49回熊本県美術館家連盟展 6/25～7/7	特別展 香川元太郎 迷路絵本展 7/17～9/4			年末年始休館 12/25～1/4			特別展 エビハラがいた時代 2/25～3/30	本館第1展示室	
別棟展示室	細川・美術館コレクションⅠ 開館45周年 感謝をこめて魅せます！ 美術館コレクション 4/3～6/27 ※新型コロナウイルス感染症の影響により休館 4/24～6/28				第40回熊日新鋭・学童書道展 6/29～7/4	細川コレクションⅡ 絵巻、楽しい！ 7/17～9/12			細川コレクションⅢ よくわかる「工芸」のみかた 9/23～12/24			細川コレクションⅣ 細川コレクションのあれこれ 1/8～3/21		
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月	
分館四階	パンゲア。展 Vol.20	遊美塾写真展	第14回千神会「心豊かに趣味の水画展」	第32回国際文化交流会 選	宇土高校創立百周年芸術展	第2回北村繁好個展	第50回同光会書展	蔵元朝美展	熊本県立第二高等学校美術家制作展	熊本県立御船高等学校創立100周年記念展	熊本県立第二高等学校美術家制作展	第24回玄泉全国書道展	分館四階	
分館二階	サトウタカシ展	内田千賀子個展	春山千章・墨アート「老いを生かす」展	第6回ヒーリングアート展	米田瑞泉水墨画書道絵紙教室展	第11回墨彩画無窮会	第43回熊本県書道展	第33回熊本県シルバークラウド展	第17回阿蘇写友会写真展	第47回熊本県書道連盟展	第57回熊本県高等学校書道展	第24回玄泉全国書道展	分館二階	
分館一階	第37回日洋会熊本支部展	川畑雅弘写真展 康平寺	3人3様展	第34回熊日新鋭・学童書道展	第26回玉名美術協会展	坂田燦おくのほそ道版画展	熊本の建築家作品展	熊本の建築家作品展	第63回書道愛好者展	第66回東光展	第55回熊本県水彩画会展	第23回日中友好熊本県書道展	分館一階	
ギャラリー	3人展	折る	熊本県美術同好会第22回アポア展	第4回キルトスタジオ	第12回石交会墨のアート展	第9回岩本武士(竹田)の個展	第34回GROUPOUS展	第32回日本水彩画会熊本支部展	令和3年いちようの会	第2回済々写友会作品展	第48回学生書道展	第24回玄泉全国書道展	ギャラリー	
会期	6～11	13～18	20～25	27～3	5～9	11～16	18～23	25～30	1～6	8～13	15～20	22～27	29～4/3	会期

■ 展覧会記録

熊本地震から5年・復興祈念展 集う！麦わらの色紙たち

— 漫画家・尾田栄一郎氏直筆色紙6点特別公開 —

- 会 期** 令和3年（2021年）4月3日（土）～6月20日（日）
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月24日（土）から休館。開館日数は19日間。
- 会 場** 本館第1展示室
- 主 催** 熊本県立美術館/熊本県教育委員会、熊本日日新聞社
- 協 力** 週刊少年ジャンプ編集部（株式会社集英社）
- 後 援** 熊本県、RKK 熊本放送、TKU テレビ熊本、KKT 熊本県民テレビ、エフエム熊本、KAB 熊本朝日放送、J:COM、FM791
- 観 覧 料** 無料
- 観 覧 者 数** 1, 850人
- 担 当 者** 林田龍太、才藤あずさ



内 容

熊本地震から5年となる熊本の更なる「復興」を目指し、熊本出身の漫画家・尾田栄一郎氏（『ONE PIECE』作者）が、本県に寄贈した直筆のキャラクター色紙を展示・お披露目する展覧会。

平成28年（2016年）4月、熊本は2度にわたる大きな地震に見舞われた。その直後の4月17日、尾田氏は故郷に向け「必ず助けに行く」という心温まるメッセージを発信。このメッセージを復興に向かう原動力に、漫画『ONE PIECE』と熊本県が連携した『ONE PIECE 熊本復興プロジェクト』が始動した。現在、県内各地で、ルフィとその仲間の銅像設置が行われていることも、プロジェクトによる成果の一端である。

これらブロンズ像設置に併せ、尾田氏は各登場人物のイラスト色紙を制作。それらの色紙は熊本県に寄贈され、そして熊本県立美術館で保管することとなった。本展では、既に設置されたブロンズ像のモチーフであるルフィ、サンジ、ウソップ、チョッパー、ブルック、フランキーを描いた直筆の色紙計6点を特別公開。また併せて、第1展示室第3室では、熊本地震における当館の被災状況と復興の取組みについても紹介した。

展示にあたっては、色紙専用のアクリルカバー付きバックパネルを作成し、展示室内の装飾として各キャラクターのバナーを設置した。また第2室では、壁面に動画復興プロジェクトに関する動画を投映し、展示室を劇場のようにするなど、工夫を凝らした。しかし新型コロナウイルスの感染拡大により、当館は4月24日（土）より休館。その後再開館することなく、本展は閉会日を迎えた。

<第Ⅰ期細川・美術館コレクション>

開館45周年 感謝をこめて魅せます！美術館コレクション

会 期 令和3年（2021年）4月3日（土）～6月27日（日）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月24日

（土）から休館。開館日数は19日間。

会 場 本館第2展示室、別棟展示室

主 催 熊本県立美術館/熊本県教育委員会、熊本日新聞社

観覧者数 2,761人

（本館2階：1,239人、別棟：1,522人）

担 当 者 萬納恵介、山中理彩子



内 容

令和3年（2021年）3月4日、熊本県立美術館は昭和51年（1976年）の開館から45年を迎えた。これを記念して、本展覧会では、当館を御支援いただき、育てていただいた方々への感謝をこめて、美術館コレクション選りすぐりの美術品を展示した。

当館は、古今東西の美術を網羅する総合美術館を目指して、コレクションの形成に取り組んできた。これまでの名品展では、時代順や分野別に展示することが多かったが、今回はそれぞれの美術品にみられる「物語」や「構図」、「色」、「形」などのいくつかの要素を「魅どころ」として取り上げ、コレクションの魅力に迫る内容とした。

さらに、細川コレクションを所蔵する永青文庫から、特別に国宝《太刀 銘豊後国行平作》（通称「古今伝授の太刀」）を借用。併せて、国の重要文化財である菱田春草《落葉》、松岡映丘《室君》、平福百穂《豫讓》を展示した。

開幕当初は、近隣施設でゲーム「刀剣乱舞」に関連したイベントが開催されたこともあり、刀剣鑑賞を目的とした来館者が多く、菱田春草《落葉》も人気のある作品であるため、1日当たりの来館者が数百人を数えることもあった。

展示室内における密集を避けるために職員総出で案内に立ち、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めていたが、4月24日（土）からは熊本県内の感染者が増加したため、当館も臨時休館に入った。休館中は、再開後の来館につなげるべく、展示室の様子を撮影して動画を編集し、SNS上で公開するなどしてきたが、結果として、6月27日（日）の閉幕までに再開することはできなかった。

関連行事

当初は以下のイベントを予定していたが、臨時休館となったためすべて中止した。

①ミュージアムセミナー

日 時：5月 1日（土）

講 師：学芸員 萬納 恵介

②ミュージアムセミナー

日 時：6月19日（土）

講 師：山中 理彩子

③子ども美術館「開館45周年 感謝を込めて魅せます！」

日 時：5月 2日（日）

<特別展>

絢爛豪華！ おかやま・林原美術館展 洛中洛外図屏風と大名文化

会 期 令和3年(2021年)7月16日(金)～9月5日(日)

会 場 本館第2展示室

主 催 熊本県立美術館/熊本県教育委員会、熊本日日新聞社、
RKK 熊本放送

特別協賛 株式会社肥後銀行

協 賛 高橋酒造株式会社

後 援 熊本県、熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、熊本県市町
村教育委員会連絡協議会、熊本県図画工作・美術教育研究
会、熊本県高等学校養育研究会美術・工芸部会、熊本県高
等学校文化連盟、熊本県博物館連絡協議会、NHK 熊本放送
局、エフエム熊本、J:COM、FM791

特別協力 一般財団法人林原美術館

観 覧 料 一般：1,000円(800円) 大学生：800円(600円)

別棟との共通券(一般のみ)：一般1,100円(740円)

高校生以下無料 ()内は前売・20名以上の団体料金

観覧者数 5,525人

担 当 者 宮川聖子、才藤あずさ

内 容

岡山県・岡山市に位置する林原美術館は、実業家・故林原一郎氏が蒐集した日本をはじめとする東アジア地域の名品と、旧岡山藩主池田家から引き継いだ大名調度を中心としたコレクションを所蔵。それらは刀剣・武器・甲冑・絵画・書跡・能面・能装束・彫漆・螺鈿・蒔絵・陶磁・金工などの多岐の分野にわたっており、日本屈指といえる。

本展では、(1)池田家の歴史と尚武、(2)大名家の生活とたしなみ、(3)岡山藩の教育、(4)家宝の書画、(5)林原一郎氏の数奇という5つのテーマを設定し、選りすぐりの100件を展示(一部展示替えあり)。この中には、国宝2点、国指定重要文化財12点、国指定重要美術品4点、岡山県指定重要文化財3点が含まれるなど、“絢爛豪華”なラインナップとなっており、このように林原美術館の名品を一堂に、そして“ぜいたく”に展示するのは西日本で初の試みであった。

コロナ禍以前に開催した古美術系の特別展では、思うように集客が伸びず苦戦。その要因は様々あるだろうが、「大名細川家」の展示について慣れがきているのではないかという指摘もあった。そのため本展は、ふだん熊本で展示する機会のない大名池田家に伝来した名品等を観覧いただく機会、また大名細川家と他大名を比較していただく機会、そして日本の歴史や文化、美術品に興味・関心を持っていただく機会を創出することを狙いとして、企画・開催した。

こうした意図のもと、5章構成で作品を展示。展示の際は、来館者の視線、導線を意識した作品の配置により、リズムと見ごたえのある展示空間になるよう努めた。また、国宝2件については写真撮影をお許しいただき、《洛中洛外図屏風》の複製屏風をロビーに設置して撮影スポットを設ける等、SNS向けの来館者サービスも行なった。展覧会の内容は大人向けであったが、子どもも楽しめるようスタンプラリーを取り入れたワークシートを作成した結果、子どもだけでなく大人にも好評であった。



このような構成、会場づくり、教育普及（ワークシート）、SNS等の効果もあってか、コロナ感染者数を日々更新するという非常に厳しい状況下にも関わらず、予想以上の観覧者に御来館いただきました。出口付近でわざわざ職員に感動の気持ちやお礼を言われる方も多く、SNSや会場でのやり取りの中で確認した限りでも、展示内容に御満足いただけた様子をうかがうことができました。

関連行事

①特別講演会「林原美術館のコレクション形成-林原一郎と池田家」

日 時：7月16日（金）

講 師：林原美術館館長 谷一尚 氏

参加者数：34人

②特別講演会

日 時：8月8日（日）

講 師：林原美術館 学芸員 橋本龍 氏

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮し中止。

③ミュージアムセミナー「林原美術館の名宝」

日 時：7月31日（土）

講 師：参事 金子 岳史、主任学芸員 宮川聖子

参加者数：30人

④子ども美術館「雅な遊び♡貝合わせを楽しもう！」

日 時：9月5日（日）

ファシリテーター：参事 福田友子、主任学芸員 宮川聖子、学芸員 香月比呂

参加者数：15人（5家族）

<特別展>

香川元太郎 迷路絵本展

会 期 令和3年(2021年)7月17日(土)～9月4日(土)

会 場 本館第1展示室

主 催 株式会社テレビ熊本、熊本県立美術館/熊本県教育委員会

担 当 者 萬納恵介

観 覧 料 一般：900円 高校生以下無料

観 覧 者 数 10,830人



内 容

香川元太郎は、愛媛県生まれの作家で、かくし絵・迷路イラストを多数制作するほか、歴史考証イラストレーターとして歴史の教科書や資料集などに作品を描いてきた。平成27年(2005年)に発表の絵本『時の迷路』以来、シリーズ累計300万部を発行した「迷路」シリーズは、一枚一枚丁寧に考証を行いながら書き下ろされており、迷路やその中にちりばめられているかくし絵に挑戦するうちに、歴史や自然など、それぞれのテーマについて遊びながら学ぶことができる。

今回の展覧会では、香川元太郎の作品全198点が熊本で初集結。会場には遊べる巨大立体迷路やクイズラリーなど楽しい仕掛けも出現した。

入館者の多くが高校生以下の子どもを連れた家族で、吹き抜けホールに設置した「かぞくでアート」による段ボール巨大迷路の存在もあり、週末は特ににぎわった。

関連行事

①関係者内覧会

日 時：7月16日(金)

参加者数：約40人

②香川元太郎氏によるスライドトーク

日 時：7月17日(土)

参加者数：46人

③香川元太郎・志織氏サイン会

日 時：7月17日(土)

参加者数：約60人

④かぞくでアート☆

日 時：①7月25日(日)、②8月1日(日)、③8月15日(日)

参加者数：①21人、②21人、③11人

協 力：わーくしょっぷの会、第二高等学校美術科

⑤みんなでアート「ダンボール巨大迷路に挑戦しよう！」

概 要：県内の美術を学ぶ高校生・大学生およそ150名が制作した「ダンボール巨大迷路」を、会期中吹き抜けホールに設置。来館者が自由に迷路を体験できるイベントとして、延べ15,414人が参加した。

<第Ⅱ期細川コレクション>

絵巻、楽しい！

- 会 期 令和3年(2021年)7月17日(土)～9月12日(日)
会 場 本館別棟展示室
主 催 熊本県立美術館/熊本県教育委員会、熊本日新聞社、RKK
熊本放送
特別協力 公益財団法人永青文庫
協 力 株式会社肥後銀行
観覧者数 2,166人
担 当 者 金子岳史、宮川聖子



内 容

絵巻物は、右から左へ巻物を巻きながら鑑賞する絵画形式である。古くは奈良時代の作例が確認され、平安時代になると、巻きながら見ることを利用して、現代のアニメーションの源流とも言われるほどの、ダイナミックな物語展開の表現や人物描写の優れた作品が登場した。また、中世の絵巻物は、その時代の生活や価値観などを垣間見ることのできる貴重な資料にもなっている。その他にも、横長の画面を利用してお祭りの行列を延々と描いたものや、旅の紀行文のように、各地の風景を描いたものもある。中国には古くから「臥遊^{がゆう}」という言葉がある。これは、家で寝転んで山水図の画卷を眺めることで、美しい風景の中に身を置いた気持ちになるという絵の観方を指すものであった。このように、絵巻は様々な楽しみ方を有する絵画形式なのである。

本展では、南北朝時代の重要文化財《長谷雄草紙》を中心に、様々なスタイルの絵巻を展示し、絵巻物の絵画の美しさ、面白さをわかりやすく紹介した。絵巻物をテーマにした展覧会は、別棟展示室(細川コレクション永青文庫展示室)開室以来初めての企画であった。

関連行事

- ミュージアムセミナー「絵巻、楽しい！」
日 時：8月28日(土)
講 師：参事 金子岳史
参加者数：21人

<第Ⅲ期細川コレクション>

よくわかる「工芸」のみかた—細川家の古美術鑑賞“入門編”

- 会 期 令和3年（2021年）9月23日（木・祝）～
12月24日（金）
- 会 場 本館別棟展示室
- 主 催 熊本県立美術館/熊本県教育委員会、熊本日日新聞社、
RKK 熊本放送
- 特別協力 公益財団法人永青文庫
- 協 力 株式会社肥後銀行
- 観覧者数 1,716人
- 担 当 者 才藤あずさ、宮川聖子



内 容

熊本藩主細川家には、歴代藩主の甲冑やお姫様の婚礼調度など、様々な美術工芸品が伝来する。本展では、その中から「工芸品」の分野にスポットを当て、工芸を楽しんで鑑賞していただくための基本的な知識やポイントを紹介した。

本展で取り上げた工芸品は、「甲冑」、「調度」、「能面」の三分野。日本の甲冑は戦場で身を守るために用いる実用の道具であると同時に、様々な素材や技法を用いて作られた総合芸術でもあった。また、儀礼や日常生活の空間を彩った調度は、蒔絵をはじめとした漆芸技法によって華やかに装飾され、工芸技術の粋を尽くして制作された。能に用いる能面は、物語に登場する人物の特徴を分かりやすくあらわすための様々な工夫がほどこされている。これら工芸品について、用いられた素材や技法、デザインや用途といった様々な側面を取り上げ、工芸の「みかた」や「楽しみ方」を分かりやすく紹介した。多彩な工芸品の魅力に触れる切っ掛けをつくるという点で意義のある企画であった。

<第Ⅳ期美術館コレクション>

春を寿ぐ ひとあし早い春を美術館で感じてみませんか？

会 期 令和4年(2022年)1月8日(土)～3月13日(日)
会 場 本館第2展示室
主 催 熊本県立美術館/熊本県教育委員会
観覧者数 1,503人
担 当 者 宮川聖子、香月比呂

内 容

春といえば、桜の季節を想起しがちだが、江戸時代の春は1月～3月をさし、新年の訪れとともに始まっていた。このことに着目し、美術館で展示している作品を通して、ひとあし先に春の訪れを感じていただく内容の展覧会を企画した。

日本には、年が明けて初めて1年の抱負や目標をしたための「書き初め」の習慣があり、これは恵方に向かってめでたい言葉や詩歌を書いたのが始まり。肥後の三筆として有名な「北島雪山・秋山玉山・豪潮」といった江戸時代の書家を筆頭に、当館では数多くの書蹟を収集してきた。そこで、展示室の第1室では書き初めにおすすめな作品や春をテーマに詠まれた和歌・漢詩を紹介した。

また、春に欠かせない行事のひとつに、「桃の節句」がある。3月3日にひな人形を飾り、調度品を供え、女兒の幸福と成長を祈るこの文化は、「ひな祭り」としても知られている。

そこで、第2室では所蔵品のなかでも根強い人気を誇る近代細川家のひな人形を大公開。併せて、春を代表する梅や桜を描いた絵画や、めでたい兆しの象徴である「一富士、二鷹、三茄子」に因んだ絵画や工芸品などを展示して「めでたづくし」を特集した。

明治時代以降になると、春の描かれ方はより多様になり、梅や桜といった春ならではのテーマやモチーフだけでなく、色彩やフォルムといった絵画表現そのものによって、春という季節が表されるようになっていく。第3室では、そんな多様で豊かな春の姿が表現された、近現代の洋画や日本画、版画を展示した。

本展では、江戸時代の墨蹟から明治時代以降の華やかな絵画まで、春を寿ぐ豪華なラインナップで作品64点を紹介した。

関連行事

①新春の舞

日 時：令和4年(2022年)1月15日(土)
場 所：本館第2展示室
出 演 者：舞踊 高濱流光華々
 箏 下田 れいこ
 尺八 藤山 雅弘

参加者数：計62人(1回目37人、2回目25人)

②ミュージアムコンサート(※)

日 時：令和4年(2022年)2月5日(土)
場 所：第2展示室
出 演 者：ソプラノ 福島 由記、ピアノ 藤本 史子



③ミュージアムセミナー「春を寿ぐ」(※)

日 時：2月26日(土)

講 師：主任学芸員 宮川 聖子、参事 才藤 あずさ

※②及び③は新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮し中止。

<第Ⅳ期細川コレクション>

細川コレクションのあれこれ 学芸員のイチオシ

- 会 期 令和4年(2022年)1月8日(土)～3月21日(月・祝)
- 会 場 本館別棟展示室
- 主 催 熊本県立美術館/熊本県教育委員会、熊本日新聞社、RKK熊本放送
- 特別協力 公益財団法人永青文庫
- 協 力 株式会社肥後銀行
- 観覧者数 1,403人
- 担 当 者 萬納恵介、金子岳史



内 容

公益財団法人永青文庫が所蔵する細川コレクションのうち、絵画、彫刻、工芸、歴史資料などの様々な分野の中から学芸員イチオシの美術品を選び、最新の調査研究の成果も交えながら展示することで、細川コレクションによってわかる様々な文化や知識を紹介した。

「第1章 洋人奏楽図屏風と細川家」では、桃山時代(16世紀)に日本人絵師が制作した絵画で、細川家16代当主の護立が蒐集した国指定重要文化財の《洋人奏楽図屏風》を展示。屏風に描かれたモチーフをもとに、葡萄酒醸造など江戸時代に細川家が受容した洋風文化について紹介した。

「第2章 孔子と儒教」では、令和2年度(2020年度)の永青文庫預り品調査で見いだされたブロンズ製の孔子とその弟子・子路の像を展示。関連資料とあわせて紹介することで、孔子の人となりや、儒教がどのようにして日本に浸透したかについて解説した。

「第3章 東洋彫刻の美」では、護立が蒐集した東洋彫刻を展示した。多くはインドで制作された仏やインド固有の神々の像で、日本の仏像や神像とは異なった趣がある。日本以外では、信仰の対象をどのように造形化したのかについて、平成30年度(2018年度)に実施した調査の成果をもとにして紹介した。

3つのテーマのうち、第2章、第3章はこれまであまり取り上げてこなかったテーマ・作品であったこともあり、ラジオ等広報においてはその点を強調し、細川コレクションの奥深さをアピールすることに努めた。

<特別展>

海老原美術研究所設立 70 周年記念 エビハラがいた時代：1945—1976

会 期 令和4年(2022年)2月25日(金)～3月30日(水)
会 場 本館第1展示室
主 催 熊本県立美術館/熊本県教育委員会、熊本日日新聞社、RKK
熊本放送

特別協賛 株式会社肥後銀行、KM バイオロジクス株式会社

協 賛 金剛グループ

助 成 公益財団法人 花王芸術・科学財団、独立行政法人 日本芸術文化振興会、一般財団法人 熊本放送文化振興財団

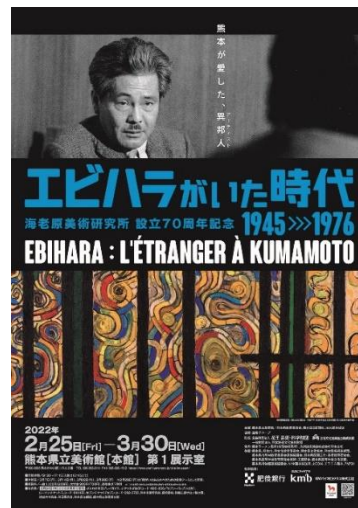
協 力 熊本ラーメン黒亭(有限会社黒亭)、九州旅客鉄道株式会社熊本支社

後 援 熊本県、熊本市、熊本市教育委員会、熊本県文化協会、
熊本県美術家連盟、熊本県市町村教育委員会連絡協議会、熊本県凶画工作・美術教育研究会、熊本県高等学校教育研究会美術・工芸部会、熊本県高等学校文化連盟、熊本県博物館連絡協議会、NHK熊本放送局、J:COM、エフエム熊本、FM791

観 覧 料 一般：1,100円(900円) 大学生：900円(700円)
高校生以下無料 ()内は前売・20名以上の団体料金

観覧者数 2,907人

担 当 者 林田龍太、山中理彩子



内 容

鹿兒島出身の画家・海老原喜之助は、戦後15年間を熊本で過ごしている。戦争末期に熊本に疎開した彼は、昭和26年(1951年)に熊本市内で画塾・海老原美術研究所を設立。熊本を戦後の活動拠点としつつ、若手画家たちを育成していった。そのかたわらパブリック・アートの制作や公募美術展の審査員などをおして、地域文化の活性化にも貢献している。海老原は昭和35年(1960年)に熊本を去るのだが、その発言は彼がパリで客死するまで、熊本に多大な影響を及ぼし続けた。本展は、戦後熊本における海老原喜之助の軌跡をたどるものであった。

戦後の海老原を語る上で、彼の活動を支えた熊本の人々の存在は不可欠である。だが多くの場合、美術展の主役は画家であり、鑑賞者をはじめとする一般の人々に焦点が合わせられることは、ほぼない。そこで本展では、海老原喜之助という画家を、熊本の人々の視点から捉え直す構成とした。作品は制作順ではなく、熊本の人々が目にした順に展示。さらには地元紙に掲載された海老原関係記事、報道映像、それに本人による講義の音源といった資料類の展示を通して、熊本の人々が海老原喜之助という画家をいかに受容し、理解していったかを再現した。

来館者の反応は良く、SNSでは「テーマも明確、海老原絵画の魅力が伝わるし、関連作も良いもの揃い。熊本の土地や人々との関わりへの焦点の当て方も印象に残る。館/学芸員の方の渾身の展覧会では」、「今回のような展示こそ、熊本県美術館としての役割の最たるもの、使命だと心底思いました」などの声が寄せられた。

しかし、来観者数は2,907人と、当初見込の半分以下にとどまった。数字の上では残念な結果

となったが、充実した図録を刊行できたことは、本展の大きな成果の一つと言える。図録には作品・資料の図版に加え、海老原喜之助が地元紙に記したエッセイ、講演録、それに本人が出演したラジオ番組を文字化し掲載。その他関係者へのインタビュー、文献目録、年譜などを可能な限り詰め込み、資料性を高めた。熊本での海老原の事績や、地域と画家との結びつきを長く語り継いでもらうためである。結果として有料入場者に対する図録の購入率は9.3%と、当館としては高い割合となった。来観者数のみでは測ることのできない、展覧会の内容に対する満足度を物語るデータと言えるだろう。

なお、本展の企画及び図録内の論文は、「第33回倫雅美術奨励賞(美術誌研究部門)」を受賞した。

関連行事

①障がいのある方々のための鑑賞デー

日 時：2月28日(月)

※まん延防止等重点措置のため、手話通訳によるギャラリートークは中止。

②ミュージアムセミナー『『エビハラがいた時代』前史』

日 時：3月5日(土)

講 師：参事 林田龍太

参加者数：27人

③子ども美術館×くまモン夢学校

日 時：3月19日(土)

※当初は3月6日(日)に開催予定であったが、まん延防止等重点措置期間再延長のため、開催を延期。

テ ー マ：「段ボールで熊本城を作ろう！」

講 師：参事 林田龍太、参事 福田友子、学芸員 香月 比呂

主 催：一般社団法人 FOR KUMAMOTO PROJECT

協 力：サクラパックス株式会社、崇城大学芸術学部

参加者数：21人(7家族)

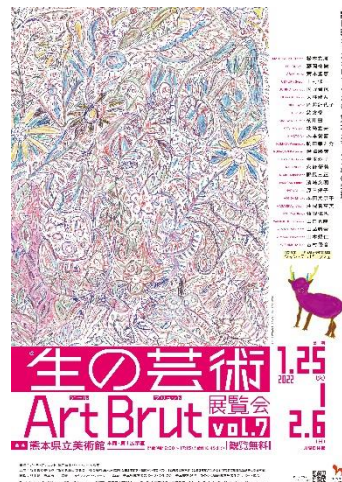
<共催展>

き アール ブリュット 生の芸術 Art Brut 展覧会 vol.7

会 期 令和4年（2022年）1月25日（火）～2月6日（日）
会 場 本館第1展示室
主 催 アール・ブリュット（生の芸術）パートナーズ熊本
共 催 熊本県立美術館/熊本県教育委員会、社会福祉法人愛隣園
観覧者数 1,656人
担 当 者 福田友子、香月比呂

内 容

本展は、「誰に教わったわけでもない。熊本が育んだ魂の表現」をテーマに、日本を代表するアール・ブリュット作家・松本寛庸氏と藤岡祐機氏作品をはじめ、障がいのある熊本県在住の作家25人による作品約280点を展示。美術館での展示は、熊本地震後の平成29年（2017年）に当館が共催に加わったことをきっかけに始まり、今回は、第1展示室での大規模開催。作家にとって県立美術館での展示は、作品を通じた交流の場であり、認められる喜びが創作意欲や自立へとつながっている。新作にとどまらず過去の作品を織り交ぜ展示することで、彼らの表現をより深く味わっていただく機会とした。また、特別展示として当館が所蔵するジャン・デュビュッフェの版画作品を7点出品した。



スクールミュージアム

会 期 令和3年（2021年）10月～12月
（15校12か所）

主 催 熊本県立美術館

観覧者数 2,990人

担 当 者 福田友子、香月比呂、当館学芸員



内 容

当館では、平成18年（2006年）から県内の学校を対象とした教育普及活動として、美術館の収蔵品を学校に持参して展示・授業をおこなう「スクールミュージアム」を開催してきた。

この事業は、活動を通して子どもたちの芸術や文化を愛好する心を育むとともに、地域にひろく美術鑑賞の機会を設けることを目的としている。令和3年度（2021年度）は、以下の県内15校（12か所）の学校で実施した。展示作品は、浜田知明の版画作品と原版、マルク・シャガールの版画作品である。なお実施に当たっては、新型コロナウイルスの感染防止対策について各学校と事前に協議を行った。

実施日	実施校	児童・生徒 参加者数	保護者等 参加者数	合計
10月 8日（金）	芦北町立湯浦小学校	183	16	199
10月18日（月）	山鹿市立鹿北中学校	60	23	83
10月19日（火）	玉名市立鍋小学校	110	12	122
10月26日（火）	熊本大学教育学部附属小学校	648	19	667
10月29日（金）	天草市立倉岳小学校・中学校・高校	130	48	178
11月 9日（火）	合志市立西合志第一小学校	68	36	104
11月19日（金）	熊本市立田原小学校	91	65	156
11月25日（木）	甲佐町立甲佐小学校	217	22	239
11月30日（火）	和水町立三加和小学校・中学校	221	33	254
12月 7日（火）	山都町立蘇陽小学校	68	13	81
12月10日（金）	天草市立有明小学校	186	13	199
12月16日（木）	合志市立合志南小学校	673	35	708
総計	15校（12か所）	2,655	335	2,990

ミュージアムバス

当館では、令和3年度（2021年度）より新規事業として「ミュージアムバス」事業を展開した。

本事業は、日頃、本物の美術・工芸作品などにふれる機会の少ない県内小中学校の児童生徒を美術館に招聘し、美術作品の鑑賞を体験してもらうことで、子供たちの豊かな心や創造性の涵養を図ることを目的としている。

※熊本県立美術館運営ビジョンの基本方針1（「子どもの頃から豊かな感性を育み、多様な人々が集い交流する美術館」）に基づく。

実施日：令和3年（2021年）7月26日（月）

参加校：あさぎり町立須恵小学校

参加者：全校児童36人、保護者8人、教職員8人 計52人



■ 浜田知明版画室

会 期 2階コレクション展と併せて展示替え
会 場 本館2階浜田知明室
主 催 熊本県立美術館
担 当 者 山中理彩子、香月比呂



内 容

熊本出身の版画家・彫刻家である浜田知明の活動を顕彰すべく、毎回テーマを設定し、版画作品10点程度に加え、1点程度の彫刻作品を紹介している。但し、令和3年度（2021年度）は新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、室内の混雑を避けるため、展示作品数を縮小した。また、改修工事による休館のため、計3期の展示となった。

第1期（4/3～6/27）は「開館45周年 感謝をこめて魅せます！」展と連動して「隠れた魅どころ」というテーマを設け、浜田の銅版画作品の中から原版と版画を併せて展示。銅版画の制作過程を解説し、版画はもちろん、精緻な彫りを見せる原版の魅力や、複数の工程を必要とする銅版画という技法の魅力に迫る企画とした。ただし、4月24日（土）以降は新型コロナウイルス拡大による臨時休館のため閉室した。

第2期（7/16～9/5）は「旅の記憶」と題し、浜田がヨーロッパ遊学の記憶をもとに制作した版画集『わたくしのヨーロッパ印象記』から、6点の銅版画を展示。浜田が旅先で触れたヨーロッパの文化・歴史・風景に、憧憬・印象・想像力などが結びついて作り上げられた、独自のヨーロッパ像を紹介した。

第4期（1/8～3/13）は「閉ざされた部屋」というテーマを設け、浜田が画業を通して制作のモチーフとした“外界から隔てられた空間”に着目し、7点の作品を展示。他者の目が少ない空間で露わにされる不安など、人間の心理を見つめた浜田作品の特質を示そうと試みた。

■装飾古墳室

装飾古墳は全国で約700基確認されているが（平成30年現在）、九州の北・中部に集中的にみられ、県内には約200基が存在する。当館の装飾古墳室では、熊本県の代表的な装飾古墳を実物とレプリカで再現し、考古学ファンや児童生徒、一般来館者に楽しんでいただいている。

平成28年（2016年）4月の「熊本地震」によって古墳室内の展示ケース等が破損したため一部区画を閉鎖していたが、平成29年度（2017年度）「本館機能強化工事」により全国の装飾古墳情報（文字情報と画像）を検索できる端末（2台）を設置する情報スペースとした。

ただし、端末はタッチパネルにより操作するため、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本年度は1年間を通して使用を停止した。

なお、令和3年度（2021年度）の改修工事で、展示室内の照明を一新。これまで見る事ができなかった、装飾古墳の壁面や石像の文様など微妙な凹凸が感じられるようになった。



〈レプリカ・模刻〉

No	名称	出土地名	指定
1	大村横穴	人吉市城本町	国指定史跡
2	千金甲古墳（1号）	熊本市西区小島下町	//
3	井寺古墳	上益城郡嘉島町	//
4	鍋田横穴	山鹿市大字鍋田	//
5	弁慶ヶ穴古墳	山鹿市熊入町	//
6	チブサン古墳	山鹿市大字城字西福寺	//

〈石材・石人等〉

No	名称	出土地名	所蔵（保管）者名
1	広浦古墳石棺石材	上天草市大矢野町	県立済々黌高等学校
2	鴨籠古墳石棺	宇城市不知火町	熊本大学
3	臼塚古墳石人	山鹿市大字石	県立鹿本商工高等学校
4	姫ノ城古墳出土鬘・蓋・靱	八代郡氷川町	氷川町教育委員会

■教育普及

□各種講座等

(※新型コロナウイルス感染の影響により中止したものは、「期日」欄を二重線で見え消し)

子ども美術館 (実施場所：文化交流室及び展覧会場他、時間：10:30～12:00)

期日	関連展覧会	参加者
5月2日(日)	開館45周年 感謝をこめて魅せます!	中止
9月5日(日)	おかやま・林原美術館展	15人
3月19日(土)	エビハラがいた時代(くまモン夢学校コラボ企画)	21人

特別講演会 (実施場所：文化交流室、時間：10:30～12:00)

期日	関連展覧会	参加者
7月16日(金)	おかやま・林原美術館展 林原美術館館長 谷一尚氏	34人
7月17日(土)	香川元太郎迷路絵本展 香川元太郎氏	46人
8月8日(日)	おかやま・林原美術館展 林原美術館学芸員 橋本龍氏	中止

おしゃべり鑑賞タイム (実施場所：展覧会場、時間：12:00～14:00)

期日	内容
5月2日(日)	正午から午後2時までの2時間を「話しながら鑑賞できる」時間帯とし、ご家族やお友達とお話ししながら鑑賞を楽しむことができます。 ※新型コロナウイルス感染予防のため、中止。
9月5日(日)	
3月6日(日)	

ミュージアムセミナー (実施場所：文化交流室、時間13:30～14:30)

期日	関連展覧会	講師	参加者
5月1日(土)	開館45周年 感謝をこめて魅せます!	学芸課 萬納 恵介	中止
6月19日(土)	開館45周年 感謝をこめて魅せます!	学芸課 山中 理彩子	中止
7月31日(土)	おかやま・林原美術館展	学芸課 宮川 聖子 金子 岳史	30人
8月28日(土)	絵巻、楽しい!	学芸課 金子 岳史	21人
2月26日(土)	春を寿ぐ	学芸課 宮川 聖子 才藤 あずさ	中止
3月5日(土)	エビハラがいた時代:1945-1976	学芸課 林田 龍太	27人

おわたったアートのポスターさしあげます

(実施場所：文化交流室、時間10:00～16:00)

期日	内容
8月29日(日)	*前年度に全国で開催された展覧会ポスターを無料配布するイベント。 ポスターでペーパーバッグを作るイベントも併せて実施予定であったが、新型コロナウイルス感染予防のため中止。

かぞくでアート☆

(実施場所：文化交流室及び展覧会場他、時間：10:30～12:00)

期日	内容	参加者
7月25日(日)	「香川元太郎 迷路絵本展」関連ワークショップ。壁に楽しい装飾をし、家族で協力しながら巨大迷路を作ります。できあがった壁画は、ダンボール迷路に組み込まれます。	21人
8月1日(日)		21人
8月15日(日)		11人

みんなでアートプロジェクト

「夏のイベント☆『ダンボール巨大迷路に挑戦しよう!』」

- ・「香川元太郎 迷路絵本展」会期中にあわせ、県内で美術を学ぶ学生が制作した「ダンボール巨大迷路」を設置。来館者が自由に迷路を体験でき、延べ15,414人が参加した。
- ・ダンボール巨大迷路の壁画を県内の大学(1校)、高校(8校)に依頼。150人の学生が制作に取り組んだ。(参加校：崇城大学、熊本県立大津高等学校、熊本県立岱志高等学校、熊本県立第二高等学校、熊本県立御船高等学校、熊本市立必由館高等学校、熊本中央高等学校、玉名女子高等学校、ルーテル学院高校)
- ・壁画体験コーナーの設置。来館者が貼り絵によるダンボール壁画作りを制作できるようにした。
- ・イベント後の活用として、「やまがアート」でのダンボール巨大迷路の設置。ワクチン接種会場では、壁画としてダンボール壁画を設置した。

<ダンボール巨大迷路設置風景>



<ワクチン接種会場での段ボール壁画展示風景>



学芸員資格取得課程実習(博物館実習)

期日	参加校・人数	内容	担当
8月25日(水) ～31日(火)	熊本大学・崇城大学・ 福岡大学(3人)	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館の機能、運営等に関する講義 ・作品の調査法と取り扱いの実習 ・展覧会企画に関する講義と実習 ・当館イベントの補助と参加実習 ・展覧会企画のプレゼンテーション 	萬納恵介他 関係職員

その他イベントや取組等

期日	内容
4月 3日(土)	展覧会開会式イベント ピアノ演奏 前田美和
7月17日(土) ～ 9月 4日(土)	夏のイベント☆「ダンボール巨大迷路に挑戦しよう！」
10月30日(土) ～ 11月 3日(水)	「やまがアート」にてダンボール巨大迷路の設置
各展覧会会期中	ワークシートやアンケートに記入された方へミュージアムグッズプレゼント
11月 5日(金) ～ 11月20日(土)	グランメッセワクチン接種会場にてダンボール壁画の設置
各展覧会会期中	期間限定オリジナル缶バッジプレゼント
1月15日(土)	新春の舞(舞踊:高濱流光華々、箏:下田れい子、尺八:藤山雅弘)
2月 5日(土)	ミュージアムコンサート(ソプラノ:福島由記、ピアノ:藤本史子)

講座(講師として参画したもの)

	期日	内容	担当者	場所	
出張・講座等	1	6月 4日(金)	文化庁・令和3年度国宝重文防災防犯対策研究会講師	有木	文化庁(東京都)
	2	7月31日(土)	熊本被災史料レスキューネットワーク講演会「球磨川水害による被災文化財一現状と課題一」において、仏神像の被災と救出について報告	有木・萬納	zoomによるオンライン開催
	3	8月 3日(火)	熊本県凶画工作・美術教育研究会令和3年度夏期造形研修会～美術館と学校授業の連携～	福田	熊本市立尾ノ上小学校
	4	8月 6日(金)	令和3年度奈良県文化財防犯防災関係者連絡協議会・講演	有木	zoomによるオンライン開催
	5	9月28日(火)	熊本さわやか大学校講演	才藤	やつしろハーモニーホール(八代市)
	6	10月23日(土)	トークイベント「行くか戻るかとどまるか～それぞれの上京物語」登壇	林田	久留米市美術館
	7	10月28日(木)	熊本さわやか大学校講演	才藤	熊本県総合福祉センター(熊本市)
	8	11月28日(日)	山江村歴史民俗資料館「やまへのほとけ展」関連講演会として薬師信仰の歴史と美術について講演	萬納	山江村農村環境改善センター(球磨郡山江村)

専門性向上のための研修実績

期日	名称	参加者	場所
11月17日(水) ～18日(木)	全国博物館大会	桑原副館長	かでの2・7(札幌市)

■ その他の活動

1 新型コロナウイルス感染症への対応

- ・ 非接触体温計及び非接触式サーモグラフィーカメラによる来館者の体温測定、入館票への記入。
- ・ 感染リスクが高いトイレや手すり等は昨年度抗菌・抗ウイルス対策として塗布材を塗布し、1日数回消毒作業も併せて実施。
- ・ 館内に消毒液やソーシャルディスタンスの確保のため立ち位置を示す床へのフットマーク設置。
- ・ 受付にアクリル板を新規に設置。
- ・ 展覧会場出入口や喫茶室にパーテーション（抗菌・抗ウイルス加工）設置。
- ・ 職場クラスター防止対策として館職員は1日2回の体温測定と記録、事務室、受付等にある電話機、プリンタなど職員が触れる箇所を1日1回全職員で消毒の実施等々。

2 障がいのある方々のための鑑賞デー

通常休館日である月曜日を臨時開館とし、障がいのある方々にゆっくりと展覧会をご観覧頂くためのイベント。午前・午後に分けて、手話通訳者による手話を付けて学芸員による解説を行った。

（日程）

（開催展覧会）

4月19日（月）

集う！麦わらの色紙たち

開館45周年 感謝をこめて魅せます！美術館コレクション

7月26日（月）

洛中洛外図と大名文化

2月28日（月）

エビハラがいた時代

春を寿ぐ

（※まん延防止等重点措置のため、手話通訳によるギャラリートークは中止）

3 展覧会広報事業

（1）印刷物及びインターネットによる広報

- ・ 展覧会スケジュール、展覧会のポスター・チラシ、美術館情報誌「View（年4回発行）」などの印刷物による広報。
- ・ ホームページ、Twitter、Instagram、YouTube等インターネットによる広報。
- ・ その他情報誌紙（WEB含む）無料掲載多数。
- ・ 県広報グループ等を通しての広報（県政広報テレビ番組「県からのお知らせ」コーナー、「人と国土21」への掲載、報道資料の投込、県行事、県庁展示、等）。

（2）各種メディア等による広報（共催展等を除く）

- ・ RKK熊本放送ラジオ・テレビ広告（2展覧会）
- ・ くまにちすぱいす（熊本日日新聞社フリーペーパー）広告（3展覧会）

（3）周辺施設等との連携による広報

- ・ 熊本城無料シャトルバス、熊本城周遊バス（しろめぐりん）、城彩苑 広告掲出。
- ・ 近隣施設（主要宿泊施設・文化施設・観光施設・神社等）の協力によるポスター掲示、チラシ掲出。
- ・ わくわく座、熊本城おもてなし武将隊とSNSによる展覧会告知。

（4）コロナ禍終息後のインバウンド復活に向けた広報事業展開

- ・ ホームページの外国語ページ（英語）による、展覧会等の情報を掲載。
- ・ 年間スケジュールの多言語版（英語、中国語（簡体・繁体）、韓国語）の作成。
- ・ 各展覧会概要の英語リストの設置。

4 インターネット美術館の推進

(1) 新型コロナウイルス感染症対応を契機とした「おうちで美術館」等の展開

自宅でも美術館を楽しんでもらうための事業「おうちで美術館」として、以下のコンテンツを当館ホームページ、Twitter、Instagram、YouTube で配信した。

<フォロワー>

Twitter：3,070人、Instagram：480人（令和4年（2022年）1月21日時点）。

- ・ 熊本県立美術館が所蔵する作品をぬりえにした「美術館ぬりえ」
- ・ 熊本県立美術館に保存・管理されている作品の中から、各分野の学芸員が見どころを Twitter、Instagram で紹介する「学芸員のイッピン」
- ・ YouTube に「熊本県立美術館公式チャンネル」を開設。美術館紹介動画や開館45周年展紹介動画などを公開した。今後、様々な動画を制作し、順次公開していく予定。

(2) 収蔵品データベースの整備

- ・ 当館ホームページが県庁ホームページに統合されるのに伴い、これまで HP 内で公開していた収蔵品データベースを令和2年度に新システムに移行。
- ・ 新データベースでは、コレクションの一般公開に加え、美術品管理台帳の出力や画像の管理、貸出状況の確認など、美術館内部における管理システムの拡充を図る。
- ・ 令和2年（2020年）11月より、新データベースによる収蔵品の一部公開を開始。令和3年度にすべての収蔵品について、web 上での公開を行う予定である（現状は832点）。

(3) ポケット学芸員の導入

- ・ データベース移行に付随して、あらかじめ登録した美術品の画像や解説をスマートフォンで閲覧できる「ポケット学芸員」を導入。令和2年（2020年）11月より一部作品を公開。
- ・ 今後、美術品の展示状況や、データベースの更新状況に合わせ公開数を拡大する（現状172点を公開）。

(4) Wi-Fi 通信環境調査事業の実施

- ・ インターネット美術館の推進や来館者へのサービス向上に向けて、美術館本館・別棟に Wi-Fi 通信環境を整備し、R4年（2022年）1月下旬から運用を開始した。

5 地域や他施設等との共働事業

(1) ユニークベニュー事業 展覧会「春を寿ぐ」

①新春の舞

開催日：令和4年（2022年）1月15日（土）

開催場所：本館第2展示室

出演者：舞踊 高濱流光華々、箏 下田れい子、
尺八 藤山雅弘

参加者：計62人（①37人、②25人）



②ミュージアムコンサート（中止）

開催日：令和4年（2022年）2月5日（土）

開催場所：本館第2展示室

出演者：ソプラノ 福島由記、ピアノ 藤本史子

(2) 熊本県伝統工芸館との連携による当館内での県内伝統工芸品のPR・販売

熊本県伝統工芸館と連携して、当館内で、県内伝統工芸品のPRと販売

(3) 「美術館おやこ無料デー」の実施

「教育・文化週間」「くまもと教育の日」の趣旨に添い、高校生以下の子どもと保護者（子ども1名につき保護者2名まで、妊娠中の女性とパートナーも含む）の入館料を無料とする「美術館おやこ無料デー」を実施した。

実施日：令和3年（2021年）11月3日（水・祝）

参加者：別棟 63人（うち高校生以下36人）

(4) 熊本県立大学との連携事業の実施

コロナ禍の中で校外活動が制限される中、若い世代のファン造成及び熊本城周辺施設の復興支援のため、熊本県立大学総合管理学部津曲ゼミと連携して、当館及び熊本城周辺施設の魅力をツイッター（@Artract16）等で情報発信した。

■令和3年度熊本県立美術館ボランティアの活動

□美術館サポートボランティア

当館のボランティア活動については、平成4年（1992年）に美術館友の会を母体としてスタートし、平成5年（1993年）以降は「熊本県立美術館ボランティア会」として、美術館の作業サポートや子ども美術館のワークショップ、コレクションガイドなどの活動を続けてきた。

平成25年度（2013年度）からは、美術館が運営するものとし、名称を「美術館サポートボランティア」と改め、新体制で活動を再スタートしている。

令和3年度（2021年度）は45人が登録し、以下の基本方針のもと、各グループに分かれて活動した。

◆美術館サポートボランティアは美術館の日々の活動を支えることを目的とし、次の活動を行う。

- 美術館運営のための支援（作業・広報）活動。
- ワークショップ活動（教育普及）の支援活動。

□活動内容について

（1）各グループでの活動（4グループのいずれかに所属し活動する）

- ① 図書グループ
毎週火曜日に活動し、展覧会図録や美術図書の整理を行った。
- ② 資料グループ
月2回水曜日に活動し、新聞記事の切り抜き、資料の分類・整理を行った。
- ③ ポスターグループ
第2月曜日、4木曜日に活動し、展覧会ポスター・チラシの掲示・整理、発送作業を行った。
- ④ 子ども美術館グループ
子ども向けワークショップ「子ども美術館」と前日の準備を活動とし、子ども美術館でスタッフの一員として、教材づくりや子ども達の支援を行った。

（2）その他の活動（希望者による活動）

- ① 障がい者支援
【障がいのある方々のための鑑賞デー】
令和3年度は、4月19日（月）、7月26日（月）、2月28日（月）の3回開催。午前・午後の交代制で多数のボランティア会員に御協力をいただき、館内案内、展覧会案内、車椅子の移動支援など、障がいのある方々への支援に取り組んだ。
- ② 美術館研修会（サポートボランティアを対象に行う）
美術館のミュージアムセミナーに参加した。
- ③ 自主学習会
意欲のある人たちが集まって以前からの学習会を自主的に継続している。

IV 資料

■ 観覧者状況及び事業報告

□ 年度別入館者数

年 度	主催・共催展				貸 会 場				計			
	回数	日数	入場者数	1日平均入場者数	回数	日数	入場者数	1日平均入場者数	回数	日数	入場者数	1日平均入場者数
昭和50年度	1	19	23,507	1,237	0	0	0	0	1	19	23,507	1,237
昭和51年度	18	412	302,395	734	17	101	46,471	460	35	513	348,866	680
昭和52年度	14	350	89,775	257	25	158	58,426	370	39	508	148,201	292
昭和53年度	18	438	205,025	468	19	137	76,183	556	37	575	281,208	489
昭和54年度	18	379	136,566	360	25	139	45,824	330	43	518	182,390	352
昭和55年度	16	365	110,593	303	24	173	61,261	354	40	538	171,854	319
昭和56年度	18	412	105,317	256	26	186	55,464	298	44	598	160,781	269
昭和57年度	15	433	182,457	421	25	162	50,476	312	40	595	232,933	391
昭和58年度	16	389	119,773	308	24	182	60,385	332	40	571	180,158	316
昭和59年度	16	398	103,005	259	25	155	47,687	308	41	553	150,692	272
昭和60年度	15	402	80,805	201	24	180	89,936	500	39	582	170,741	293
昭和61年度	16	438	137,798	315	28	186	48,321	260	44	624	186,119	298
昭和62年度	17	452	204,621	453	26	177	67,769	383	43	629	272,390	433
昭和63年度	18	436	143,992	330	25	170	76,406	449	43	606	220,398	364
平成元年度	18	493	192,916	391	25	191	71,004	372	43	684	263,920	386
平成2年度	16	458	182,813	399	27	205	115,017	561	43	663	297,830	449
平成3年度	16	435	182,231	419	26	172	58,675	341	42	607	240,906	397
平成4年度	15	506	137,320	271	31	223	65,103	292	46	729	202,423	278
平成5年度	22	690	153,677	223	104	669	162,734	243	126	1,359	316,411	233
平成6年度	19	565	198,610	352	119	789	193,628	245	138	1,354	392,238	290
平成7年度	18	553	218,537	395	138	887	221,809	250	156	1,440	440,346	306
平成8年度	17	452	210,043	465	92	622	164,596	265	109	1,074	374,639	349
平成9年度	13	363	68,225	188	130	801	189,534	237	143	1,164	257,759	221
平成10年度	16	570	103,579	182	137	889	172,409	194	153	1,459	275,988	189
平成11年度	14	479	163,538	341	158	982	213,522	217	172	1,461	377,060	258
平成12年度	16	525	143,028	272	153	969	253,794	262	169	1,494	396,822	266
平成13年度	13	432	96,938	224	151	965	218,165	226	164	1,397	315,103	226
平成14年度	15	472	120,577	255	144	893	171,247	192	159	1,365	291,824	214
平成15年度	14	481	116,014	241	172	1,059	208,160	197	186	1,540	324,174	211
平成16年度	13	420	65,729	156	174	1,111	209,413	188	187	1,531	275,142	180
平成17年度	12	434	95,550	220	172	1,041	187,883	180	184	1,475	283,433	192
平成18年度	21	385	73,945	192	165	995	189,301	190	186	1,380	263,246	191
平成19年度	21	371	162,652	438	180	1,121	206,943	185	201	1,492	369,595	248
平成20年度	30	663	226,126	341	175	1,093	209,314	192	205	1,756	435,440	248
平成21年度	22	736	98,212	133	174	1,111	260,714	235	196	1,847	358,926	194
平成22年度	22	632	101,051	160	166	1,033	215,981	209	188	1,665	317,032	190
平成23年度	22	525	191,658	365	175	1,034	233,227	226	197	1,559	424,885	273
平成24年度	21	652	137,416	211	168	1,069	281,306	263	189	1,721	418,722	243
平成25年度	24	766	140,291	183	171	1,047	222,282	212	195	1,813	362,573	200
平成26年度	24	736	101,242	138	163	1,050	274,295	261	187	1,786	375,537	210
平成27年度	21	586	82,968	142	123	801	214,023	267	144	1,387	296,991	214
平成28年度	26	316	45,880	145	95	586	97,932	167	121	902	143,812	159
平成29年度	22	430	101,147	235	104	667	173,631	260	126	1,097	274,778	250
平成30年度	25	642	115,013	179	148	1,255	209,691	167	173	1,897	324,704	171
令和元年度	90	631	66,464	105	144	1,125	169,125	150	234	1,756	235,589	134
令和2年度	46	513	29,585	58	39	246	35,589	145	85	759	65,174	86
令和3年度	22	441	33,655	76	110	659	115,780	176	132	1,100	149,435	136
累 計	942	22,676	6,102,259	269	4,566	29,466	6,770,436	230	5,508	52,142	12,872,695	247

口主・共催展観覧者状況

展覧会名	期日	日数	当日			区分			学校共済組合	友の会			永青文庫友の会	熊本県三友の会	アートサポーターズクラブ	合計	高校生	中学生	小学生	優待券	障がい者	未就学児	ポスター	その他	総計	一日平均入場者数	
			一般	大学生	小計	一般	大学生	小計		一般	大学生																
【本館】 ＜第1期細川・美術館コレクション展＞ 開館45周年 感謝をこめて魅せます！美術館コレクション	4/3～6/27 (4/3～4/23)	19	77	7	84	0	0	0	6	0	0	4	0	0	0	993	25	21	19	3	69	6	0	103	1,239	65	
【別棟】 ＜第1期細川・美術館コレクション展＞ 開館45周年 感謝をこめて魅せます！美術館コレクション	4/3～6/27 (4/3～4/23)	19	377	26	403	0	0	0	4	0	0	4	0	0	0	1,309	40	25	20	2	36	5	0	85	1,522	80	
＜第II期細川コレクション＞ 絵巻、楽しい！	7/17～9/12	51	1,289	85	1,374	0	0	0	47	0	0	5	0	0	0	1,484	38	144	292	8	68	48	0	84	2,166	42	
改修工事のため本館休館	9/13～ 12月末				0																						
＜第III期細川コレクション＞ よくなる「工夫」のみかた	9/23～12/24	80	796	45	841	0	0	0	26	0	0	5	0	0	0	1,067	22	108	252	14	80	34	0	139	1,716	21	
＜第IV期美術館コレクション＞ 春を寿ぐ	1/8～3/13	57	275	47	322	0	0	0	32	0	0	2	0	1	0	1,054	27	30	140	12	101	26	0	117	1,507	26	
＜第IV期細川コレクション＞ 細川コレクションのあれこれ	1/8～3/21	64	239	11	250	0	0	0	32	0	0	3	0	0	0	1,012	17	120	82	14	74	10	0	74	1,403	22	
スクールミュージアム(芦北町立満浦小学校)	10/8	1	16		16											16			183						199	199	
スクールミュージアム(山鹿市立鹿北中学校)	10/18	1	23		23											23		60							83	83	
スクールミュージアム(玉名市立錦小学校)	10/19	1	12		12											12			110						122	122	
スクールミュージアム(熊本大学教育学部附属小学校)	10/26	1	19		19											19			648						667	667	
スクールミュージアム(天草市立倉岳小・中・高等学校)	10/29	1	48		48											48		130							178	178	
スクールミュージアム(合志市立西合志第一小学校)	11/9	1	36		36											36			68						104	104	
スクールミュージアム(熊本市立田原小学校)	11/19	1	65		65											65			91						156	156	
スクールミュージアム(甲佐町立甲佐小学校)	11/25	1	22		22											22			217						239	239	
スクールミュージアム(和水町立三加和小・中学校)	11/30	1	33		33											33		221							254	254	
スクールミュージアム(山都町立蘇陽小学校)	12/7	1	13		13											13			68						81	81	
スクールミュージアム(天草市立有明小学校)	12/10	1	13		13											13			186						199	199	
スクールミュージアム(合志市立合志南小学校)	12/16	1	35		35											35			673						708	708	
合計		298	3,388	221	3,609				147	0	0	23	0	1	0	7,254	212	661	3,204	53	428	129	0	602	12,543	42	
【特別展】 地震から5年 復興祈念展 集う！麦わらの色紙たち	4/3～6/20	19	1,850	0	1,850	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,850	0	0	0	0	0	0	0	0	1,850	97	
＜特別展＞ 絢爛豪華！おみやま・林原美術館展 洛中洛外図屏風と大名文化	7/16～9/5	46	672	124	796	0	0	0	140	0	0	0	0	0	0	3,167	188	350	606	567	9	224	127	124	163	5,525	120
＜特別展＞ 香川源太郎迷路絵本展	7/17～9/4	46	3,502		3,502	0	0	0	0	3						4,762	130	3,431		53	3	170		2,140	141	10,830	235
＜特別展＞ エビハラがいた時代	2/25～3/30	30	823	39	862	0	0	0	42	119	0	1	0	0	0	1,665	38	166	150	550	24	135		21	158	2,907	97
合計		65	2,522	124	2,646				182	122	0	0	1	0	0	11,444	356	3,947	756	1,117	36	529	127	2,285	462	21,112	325

□貸会場事業報告及び観覧者状況(本館)

展覧会名	期日	日数	主催者	内 容	入場者数	観覧料
第49回熊本県美術家連盟展	6/22 ～ 6/27	6	熊本県美術家連盟	会員による洋画、日本画、彫刻、工芸、デザインの作品を展示。	924	無料
第40回熊日新鋭・学童書道展	6/29 ～ 7/4	6	(株)熊本日日新聞社	高校生以上の『新鋭の部』、中学生以下の『学童の部』上位入賞作品約700点を展示。	1,310	無料
第76回県美展	9/6 ～ 9/12	6	熊本県美術協会	洋画(油・水彩)約200点を展示	1,017	無料
生の芸術 ArtBrut 展覧会vol.7	1/25 ～ 2/6	12	アール・ブリュットパートナーズ熊本	熊本県内の障がいのある作家の作品を展示(色鉛筆画、ちぎり絵、切り絵等)	1,656	無料
小計		30			4,907	

分館(展示室1・2・3)

貸会場事業報告及び観覧者状況

展覧会名	期日	日数	主催者	内 容	入場者数	観覧料
パンゲア。展Vol.21	4/6～4/11	6	パンゲア。展	油彩 水彩 日本画 色鉛筆画 立体 など	651	
サトウタカシ展(水彩画)	4/6～4/11	6	佐藤隆	お祭り 戦争 風景 人物 仏像などなるべく社会性のあるもの F6(サイズ)56点以上展示	338	
第37回日洋会熊本支部展	4/6～4/11	6	日洋会熊本支部	油絵 水彩画 F50～F100号 額装の約30点を展示	720	
第33回朱土会日本画展	4/13～4/18	6	朱土会	風景 人物 動物 花等	653	
遊美塾写真展	4/20～4/25	6	遊美塾	熊本県の遊美塾会員の写真展約150点	428	
川畑雅弘写真展 康平寺	4/20～4/25	6	川畑雅弘	山鹿市霧野の康平寺の四季の風景及び仏像、平安時代前期の作「地藏菩薩立像」をはじめ鎌倉時代の作、「千手観音菩薩立像」や「二十八部衆立像」など全紙60点を展示	597	
第14回心豊かに趣味の水墨画展	4/27～5/3	7	千艸会	千艸会会員90名(熊本県内10教室)が水墨画の額装を各1点、さらに軸装、びょうぶなどを出品する。またコラボとして陶器やかざら工芸なども展示。指導者の春山千章氏も賛助出品する	720	
春山千章・墨アート「老いを生きる」展	4/27～5/3	7	春山千章	過疎地に生きる老人の姿を水墨画で表現した作品 屏風 掛軸 パネル等35点展示	831	
HITOYOSHI3人3様展	4/27～5/3	7	人吉創作作家会	倉橋完治 油絵(100号～200号)10点・鉄のオブジェ5点 山上貢司 木工芸品15点 松村美恵 水墨・墨彩画の額装・掛軸23点・絵皿40点	698	
内田千賀子個展	5/5～5/9	5	内田千賀子	油彩キャンバス 100S 100F 80S 30S 6F 10F	579	
100人のミュージアムが来た!	5/5～5/9	5	中川絵画教室	2014年東区長嶺に開講した中川絵画教室の生徒(子ども、中高生、大人)と講師の合同作品展 油彩 水彩 鉛筆画 版画 刺繍	709	
二科熊本支部絵画展	5/11～5/16	6	二科熊本支部	第104回二科展に出品し国立新美術館に展示された作品及び105回記念展に出品予定の新作の中から自選した絵画80号～100号の大作を中心に約55点展示	651	
第74回示現会熊本展	5/18～5/23	6	一般社団法人示現会熊本支部	令和3年国立新美術館で開催される第74回示現会展の作品の中から優秀作約60点を全国13会場で巡回展示する 合わせて熊本県内出品入選作を合同展示 作品内容は油彩、水彩、その他の絵画	3,122	一般 600円 大学生 400円 高校生以下無料
第6回ヒーリングアート展	5/25～5/30	6	ヒーリングアート実行委員会	油彩 水彩 日本画 書 切り絵等約50点	257	
第19回フォト千葉城写真展	6/1～6/6	6	フォト千葉城	自然の風景 祭りなどの風物詩 生活の中のスナップなど会員が撮りためた作品を展示	339	
第32回国際文化交流会選抜茶掛展	6/8～6/13	6	国際文化交流会	掛軸形式の書作品を約80点展示	463	
熊本独立作家展	6/15～6/20	6	熊本独立作家	洋画100号～130号 約25点	528	
昌山会グループ展(書)	6/22～6/27	6	昌山会	書道作品の展示	447	
第34回維熊篆会「書法篆刻展」併催「平方研水傘寿記念展」	6/29～7/4	6	維熊篆会	篆刻作品 篆書作品 隸書作品 約60点	319	
第83回銀光展	7/6～7/11	6	銀光会	会員会友作品 一般、学生作品 小品部門作品	4,578	一般 300円 大学生 200円 高校生以下無料
米田瑞泉・水墨画・書道・絵手紙教室展	7/13～7/18	6	米田瑞泉 水墨画・書美教室	水墨画 墨彩画 書道 絵手紙	504	
第26回玉名美術協会展	7/13～7/18	6	玉名美術協会	ペン画 日本画 洋画 水彩画 竹工芸 アクリル画 色鉛筆画 合わせて約30点	672	
宇土高校創立百周年(書道・絵画・写真)芸術展	7/21～7/25	5	宇土高校同窓会	書道 絵画 写真	2,224	
坂田燦おくのほそ道版画展	7/21～8/1	11	坂田燦	『おくのほそ道』木版画全63点 他パネル 資料など	1,455	
第48回硯心展	7/27～8/1	6	硯心会	約50名 各1点の書作品	440	
第11回墨彩画無窮会展	7/27～8/1	6	墨彩画無窮会	水墨画 墨彩画にて花鳥、山水画等を掛軸、額装にて約50点展示	440	
第2回北村繁好個展	8/3～8/8	6	北村繁好	日美展、近代日本美術協会展及び国際美術賞展(欧州美術クラブ)などへの入選作を中心に油絵30号、6号の大きさを中心に展示	136	
熊本の建築家作品展	8/3～8/8	6	日本建築家協会九州支部熊本地域会	A-1パネル複数枚と模型	185	
第43回熊本県書道展	8/10～8/15	6	熊本書法文化振興会	書道の研究者、愛好者間の融和をはかり熊本書壇の水準向上と底辺の拡大を目的とした書道展	1,022	
第50回同光会書展	8/17～8/22	6	同光会	会員35名が1～2点ずつ書作品を展示 漢字の書 仮名の書 漢字仮名交じりの書 篆刻など屏風、額、軸、パネルなどに表装して展示	334	
第20回熊本県独立書人団展	8/17～8/22	6	熊本県独立書人団	団員の書道作品の展示	486	
第33回熊本県シルバー作品展	8/24～8/29	6	一般財団法人熊本さわかみ長寿財団	日本画 洋画 写真 書 彫刻 工芸の6部門	2,377	
藏本朝美展	8/31～9/5	6	藏本靖子	油彩画50点～60点と画業を伝えるこれまでの作品集・資料等も展示	1,008	
日本風景写真協会熊本支部第15回写真展	8/31～9/5	6	日本風景写真協会熊本支部	風景写真 全紙サイズ程度約52点展示	872	
2021年度フォトたばっざか写真展	8/31～9/5	6	フォトたばっざか	全紙大、パネル、額 合計60点展示	1,024	
第76回県美展	9/7～9/12	6	熊本県美術協会	展示室1工芸約60点 展示室2日本画約50点 展示室3彫刻約40点 ギャラリーデザイン約30点	3,223	一般・大学生 500円 高校生以下無料
第86回東光展	9/14～9/20	7	東光会熊本支部	水彩 油彩 版画等 約240点展示	4,854	一般・大学生 500円 高校生以下無料
第47回熊本県書道連盟展	9/22～9/26	5	熊本県書道連盟	漢字 かな 篆刻 少字数 調和体など書道の全分野に亘る作品約250点を展示	1,167	
熊本県立御船高等学校創立100周年記念展	9/28～10/3	6	熊本県立御船高等学校	旧制中学創立時から奉職された富田至誠先生をはじめ、その教え子である著名な美術家の絵画、歴代の美術・書道教職員、平成16年に設立された芸術コースの卒業生と在校生、近年実績を残している写真部の作品を展示	526	
第17回阿蘇写友会写真展	9/28～10/3	6	阿蘇写友会	阿蘇の風景を中心としてA3/ピカから全紙サイズの写真を7名の会員で約70点を展示	422	
第63回書道愛好者展	9/28～10/3	6	日本の書道会	書道作品の展示	317	
計		251			41,316	

分館(展示室1・2・3)

□ 貸会場事業報告及び観覧者状況

展覧会名	期日	日数	主催者	内 容	入場者数	観覧料
熊本県立第二高等学校美術科制作展	10/5～10/10	6	熊本県立第二高等学校美術科	油彩画 デザイン 彫刻 立体 授業及び部活動作品	842	
スペシャリスト7人展	10/13～10/17	5	春山千章	服部秋彦(水彩)中井葉香(日本画)内田葉子(油彩)高島美恵子(書)チャリス・ミッチェル(油彩・水墨)星子悦郎(水彩)春山千艸(墨アート)各5点ずつ展示	812	
千艸会熊本・嘉島教室水墨画展	10/13～10/17	5	千艸会熊本嘉島教室	墨を主体とした水墨画 出展者16名 出展数約100点 100号以下額装 掛軸他 賛助出品 春山千艸氏(指導者)	848	
現在アート展	10/19～10/24	6	森 祐美子	油 水彩 イラスト パステル オブジェ	580	
創立120周年記念'21熊中・熊高江原会美術展	10/26～10/31	6	江原会美術展実行委員会	同校OB 恩師 現役教師 生徒による日本画 水墨画 洋画 版画 彫刻 工芸 デザインの作品約50点の展示	772	
第46回熊本県高等学校美術展・令和3年度熊本県高等学校風景画コンクール優秀作品展	11/2～11/7	6	熊本県高等学校文化連盟美術専門部	県内美術部員による絵画・デザイン・彫刻・立体・工芸の展示 令和3年度熊本県高等学校風景画コンクール特選作品40点の展示 県総文祭で展示できなかった読書感想画とポスター原画優秀作品展示	3,182	
第55回熊本県水彩画会展	11/9～11/14	6	熊本県水彩画会	公募展出品作品の展示・会員・会友80点 一般70点 小品120点 合計270点を展示	4,596	一般 300円 大学生 200円 高校生以下無料
くまもと障がい者芸術展	11/16～11/21	6	くまもとハートウィーク実行委員会	障がい者が制作した絵画・書・陶芸・工芸等の作品に日々の活動や作品に込めた思いを記したコメントを添えて展示	1,077	
'21グループ香書作展	11/23～11/28	6	グループ香	①夏目漱石の作品を題材としたものと②その他の自由作品をかな作品中心に調和体等で額、軸、パネル、屏風、帖、巻、つい立等で展示	509	
第62回熊日写真展	11/23～11/28	6	熊本日日新聞社事業局	熊日賞の部98点 新人の部11点合計109点に招待作家作品を加えて展示	1,218	
くまもと「描く力」2021	11/30～12/5	6	熊本日日新聞社事業局	県内在住者や県出身者を対象とした美術公募展 入賞・入選の作品約150点を展示	4,595	
第48回学生学童書道展	12/7～12/12	6	国際文化交流会	条幅及び半紙に書かれた書道作品	2,063	
令和3年度第57回熊本県高等学校書道展	12/14～12/19	6	熊本県高等学校文化連盟書道専門部	県下40校を超える高等学校からの書道作品240点を展示 内容は漢字の書、漢字仮名交じりの書、仮名の書、篆刻、刻字など	1,898	
第24回玄泉全国書道展	1/5～1/10	6	玄泉書道会	・日展会友 入選作家 ・玄泉成家 師範他 ・展示作品の種類 2×8尺(額) 全紙(額・軸) 半切(軸) 小作品(軸)	1,176	
第75回熊日学童スケッチ展	1/5～1/10	6	熊本日日新聞社事業局	県内の小中学生から募集した絵画作品から熊日賞・熊本県知事賞、熊本市賞ほか各学年の天・地・人賞、奨励賞など合わせて370点を展示	962	
第70回創元会熊本支部展	1/12～1/16	5	創元会熊本支部	油彩画50点	503	
創立100周年令和3年度熊本県立御船高等学校普通科芸術コース美術デザイン専攻書道専攻卒業制作展・1、2年生合同展	1/18～1/23	6	熊本県立御船高等学校	美術 工芸 映像 立体などの作品約70点 書道 刻字などの作品約50点を展示	555	
熊本市立必由館高等学校芸術コース美術・書道系卒業制作展	1/18～1/23	6	熊本市立必由館高等学校	・美術系 3年生の卒業制作40点 デッサン、デザインなどの作品約15点 油彩、水彩の小作品約30点など 賛助出品(先生方の小作品)6点 ・書道系 3年生の卒業制作約40点他 賛助出品6点	1,392	
第38回美術文化熊本支部展	1/25～1/30	6	美術文化協会熊本支部	油彩 水彩 約40点展示	383	
いのち輝く子ども美術展in Kumamoto	2/1～2/6	6	特定非営利活動法人こども美術文化研究会	・全国会員園選抜展 0歳から6歳までの自由画 ・熊本会員園卒園展	0	
第43回水彩連盟熊本支部展	2/1～2/6	6	水彩連盟熊本支部	水彩連盟熊本支部会員27名がF20～F100の水彩画作品約40点展示	420	
第33回熊本県立大津高等学校美術コース卒業制作展(第74回陽美展)	2/8～2/13	6	熊本県立大津高等学校美術コース	美術コース生による油彩、水彩、デザイン、立体、造形等約100点の作品展示 3年生を中心に2年、1年の優秀作品の展示	523	
第27回熊本デザイン専門学校卒業制作展	2/8～2/20	12	熊本デザイン専門学校	令和4年2月8日(火)～13日(月)展示室2・ギャラリー 第27期グラフィックデザイン科学生卒業制作展示 令和4年2月15日(火)～20日(日) 展示室2:建築・インテリアデザイン科卒業制作展示 ギャラリー:メディア映像デザイン、ファッションデザイン科展示	974	
SHUNICHIRO HAYASHIDA書展 2022	2/15～2/20	6	林田俊一郎	大作数点を含む漢字作品を中心に刻字や墨象作品に加え文字を素材とした様々な表現作品約70点を展示 併せて文房四宝もコーナー展示	616	
崇城大学芸術学部卒業展・大学院芸術研究科修了展	2/22～2/27	6	崇城大学	平面絵画 立体 デザイン作品 写真 映像 インスタレーション等約60点の展示 芸術学部19期生 芸術研究科17期生の卒業展・修了展となる	3,003	
熊本大学教育学部美術科卒業及び在科生展	3/1～3/6	6	熊本大学教育学部	油彩画などの絵画(約30点)	433	
熊本二紀作家展	3/1～3/6	6	二紀会熊本支部	油絵大作含み約30点	398	
国際文化交流会選抜臨書展	3/15～3/21	7	国際文化交流会	掛軸 額作品 帖及び巻子本等約100点	424	
第2回熊本県書道連盟小品書作展	3/15～3/21	7	熊本県書道連盟	漢字 仮名 漢字仮名交じりなど各分野の書作品(小作品)を約150点展示	1,059	
第62回熊日書道展	3/23～3/27	5	熊本日日新聞社事業局	入選以上の作品ならびに当展の委嘱・無鑑査作家の作品を展示 入選以上約180点 委嘱・無鑑査約60点 合計約240点を展示	2,855	中学生以上300円
キルトママ・工土恵三子パッチワーク作品展	3/29～4/3	6	山下公喜子	キルトママ教室作品 タペストリー 小物80点の展示 工土恵三子作品 タペストリー 小物30点の展示	593	
朝日熊本県写真展	3/29～4/3	6	全日本写真連盟熊本県支部	写真	581	
計		196			39,842	
合計		447			81,158	

分館(ギャラリー)

貸会場事業報告及び観覧者状況

展覧会名	期日	日数	主催者	内 容	入場者数	観覧料
オールサンデーズクラブ3人展	4/6～4/11	6	洲崎英兒	1 詩画 2 アクリル 油絵 3 写真 パステル画	388	
川口新実写真展「海辺で祈る」	4/13～4/18	6	川口新実	海辺の人工物は頑張っているというテーマで撮影した写真展 展示合計39点(撮影国内32点 海外7点)	599	
熊本県薬剤師会美術同好会第22回アポア会展	4/20～4/25	6	熊本県薬剤師会美術同好会	油絵 水彩 写真等	253	
Fアトリエ展	5/5～5/9	5	Fアトリエ	油彩 水彩 デッサン 10号から100号まで45点展示	441	
第43回虹の会展	5/11～5/16	6	虹の会	木版画	514	
第9回熊本示現会公募展	5/18～5/23	6	一般社団法人示現会熊本支部	30号以下10号までの作品で油彩、水彩、その他の絵画を県内より募集して入選(入賞)作品約60点を展示	1,111	
第12回石交会墨のアート展・字手紙展	5/25～5/30	6	石交会	漢字 調和体 小字隷書 仮名 字手紙 約50点展示	352	
西陣美術織若冲動植物絵展	6/8～6/13	6	西陣美術織全国巡回展実行委員会	日本の伝統技術である西陣美術織で天才画家伊藤若冲の絵を再現し展示	900	
ニッコールクラブ熊本支部写真展	6/15～6/20	6	ニッコールクラブ熊本支部	写真約60点展示	566	
熊本県水彩画会会員・会友小品展	6/22～6/27	6	熊本県水彩画会	熊本県水彩画会の会員・会友の制作した小品(F8号以下)を約50点展示	671	
「事の次第2010～2021」菊地ひかり個展	6/29～7/4	6	菊地ひかり	油絵 ドローイング 立体	144	
第83回銀光展	7/6～7/11	6	銀光会	会員会友作品 一般、学生作品 小品部門作品	1,469	一般 300円 大学生 200円 高校生以下無料
第12回パソコン・アート展	7/13～7/18	6	熊本パソコン・アート倶楽部	家庭用のパソコンを使った手法で水彩画や淡彩画風な絵を作成 浮世絵や季節をテーマにした風景画を展示 ①額入りA1サイズ10点 ②額入りA2サイズ30点 ③額入りA3サイズ20点	273	
第9回岩本武士(竹田)書作展	7/21～7/25	5	岩本武士	漢字 調和体 書画など40点	429	
上村虎白書作家 半世紀の個展	7/27～8/1	6	水面会	自詠歌書の半切10数本の掛軸を中心に2曲屏風、扁額や童謡の額装等で約25点展示	380	
第34回GROUP-愚-作品展	8/10～8/15	6	GROUP-愚-	書作品15点～20点	233	
そよ風会 木曜会日本画展	8/17～8/22	6	そよ風会	日本画作品展示	267	
第32回日本水彩画会熊本支部展	8/31～9/5	6	日本水彩画会熊本支部	水彩作品大きさ50F～80Fを19点展示	881	
第76回県美展	9/7～9/12	6	熊本県美術協会	展示室1工芸約60点 展示室2日本画約50点 展示室3彫刻約40点 ギャラリーデザイン約30点	849	一般・大学生 500円 高校生以下無料
第86回東光展	9/14～9/20	7	東光会熊本支部	水彩 油彩 版画等 約240点展示	1,675	一般・大学生 500円 高校生以下無料
第2回済々写友会写真展	9/22～9/26	5	済々写友会	風景 伝統芸能 祭り 街角スナップ等 約40点出品	535	
令和3年いちょうの会	9/28～10/3	6	いちょうの会	同好会(絵画)12名の作品 油彩 水彩 その他	426	
川崎京子-時を刻む-展	10/13～10/17	5	川崎京子	油彩画 テンペラ画 彫刻 デッサン画	736	
毒親アートフェス	10/19～10/24	6	浅色デザイン	虐待防止活動の一環として虐待当事者(サバイバー)のイラストや写真などをテーマ別に公募し毎年アート展として行っている	267	
熊中・熊高創立120周年記念江原写友会展(写真展)	10/26～10/31	6	江原写友会	写真作品50点展示	479	
第46回熊本県高等学校美術展・令和3年度熊本県高等学校風景画コンクール優秀作品展	11/2～11/7	6	熊本県高等学校文化連盟美術専門部	県内美術部員による絵画・デザイン・彫刻・立体・工芸の展示 令和3年度熊本県高等学校風景画コンクール特選作品40点の展示 県総文祭で展示できなかった読書感想画とポスター原画優秀作品展示	1,001	
第55回熊本県水彩画会展	11/9～11/14	6	熊本県水彩画会	公募展出品作品の展示・会員・会友80点 一般70点 小品120点 合計270点を展示	1,588	一般 300円 大学生 200円 高校生以下無料
くまもと障がい者芸術展	11/16～11/21	6	くまもとハートウィーク実行委員会	障がい者が制作した絵画・書・陶芸・工芸等の作品に日々の活動や作品に込めた思いを記したコメントを添えて展示	968	
(一社)二科会写真部熊本支部展	11/23～11/28	6	(一社)二科会写真部熊本支部	写真全紙約50点	1,155	
くまもと「描く力」2021	11/30～12/5	6	熊本日日新聞社事業局	県内在住者や県出身者を対象とした美術公募展 入賞・入選の作品約150点を展示	1,741	
第48回学生学童書道展	12/7～12/12	6	国際文化交流会	条幅及び半紙に書かれた書道作品	737	
令和3年度第57回熊本県高等学校書道展	12/14～12/19	6	熊本県高等学校文化連盟書道専門部	県下40校を超える高等学校からの書道作品240点を展示 内容は漢字の書、漢字仮名交じりの書、仮名の書、篆刻、刻字など	583	

第24回玄泉全国書道展	1/5～1/10	6	玄泉書道会	・日展会友 入選作家・玄泉成家 師範他・展示作品の種類 2×8尺(額) 全紙(額・軸) 半切(軸) 小作品(軸)	546	
東光会会員七人展	1/12～1/16	5	東光会	熊本在住の東光会会員7名の具象絵画約30点を展示	570	
第1回「明日の熊本」美術展 -美連企画展-	1/18～1/23	6	熊本県美術家連盟	美連企画による若手作家展(40歳以下)絵画作品14点 立体作品3点	593	
熊本デジカメ倶楽部写真展	1/25～1/30	6	熊本デジカメ倶楽部	県内外の風景や祭り、ポートレート等いろんなジャンルの写真約40点	343	
第6回異種作品展	2/1～2/6	6	西川誠一	鉛筆画 色鉛筆画 ペン画 アクリル画 油絵 水彩画 書 水墨画 墨彩画 写真他 合計約50点	543	
第27回熊本デザイン専門学校卒業制作展	2/8～2/20	12	熊本デザイン専門学校	令和4年2月8日(火)～13日(月)展示室2・ギャラリー 第27期グラフィックデザイン科学生卒業制作展示 令和4年2月15日(火)～2月20日(日) 展示室2:建築・インテリアデザイン科卒業制作展示 ギャラリー:メディア映像デザイン、ファッションデザイン科展示	893	
崇城大学芸術学部卒業展・大学院芸術研究科修了展	2/22～2/27	6	崇城大学	平面絵画 立体 デザイン作品 写真 映像 インスタレーション等約60点の展示 芸術学部19期生 芸術研究科17期生の卒業展・修了展となる	850	
清和小型条幅書初展	3/1～3/6	6	清和書道会	半切1/4による書初 幼児から一般の作品約600点	386	
日本画工房浮島館作品展	3/15～3/21	7	日本画工房浮島館	日本画工房浮島館で日本画の古典技法を学ぶ30代～80代約30名による作品展	679	
第62回熊日書道展	3/23～3/27	5	熊本日日新聞社事業局	入選以上の作品ならびに当展の委嘱・無鑑査作家の作品を展示 入選以上約180点 委嘱・無鑑査約60点 合計約240点を展示	800	中学生以上300円
仏画へのいざない 縹緗と彩色展	3/29～4/3	6	大塚すみ子	白描 お軸2点 額4点 紺紙金泥10点(お軸3点額7点) 彩色(お軸4点額6点)	626	
計		260			29,440	

分館(展示室1・2・3 ギャラリー)

合計

		707			110,598	
--	--	-----	--	--	---------	--

■収蔵品の概要

熊本県立美術館の収集方針・収集計画

熊本県立美術館は、古今東西の美術品等の展示・収集・保存・研究等を目的に設置された総合美術館として、(1)日本及び東洋の古美術、(2)日本の近・現代美術、(3)西洋美術についての収集を、次の各項目の方針等に基づいてすすめる。

収集にあたっては、①散逸あるいは滅失の危険のある、熊本県内の美術品・文化財等の収集及び保存、②本県出身あるいは本県ゆかりの作家等の作品など、熊本県の美術史の流れを展望するための美術品の収集、③世界的な視野で美術の流れを広く展望することのできる作品の収集について、特に留意するものとする。

1 日本および東洋の古美術

古代から近世に至る熊本の美術・文化・歴史の流れを展望できるコレクションの形成を目指す。

(1) 古代・中世の熊本にゆかりのある美術品

- ① 彫刻（仏神像など）
- ② 絵画（仏画など）
- ③ 工芸品（染織品や能道具、刀剣など）
- ④ 書蹟・墨蹟

(2) 近世の熊本にゆかりのある美術品

- ① 絵画（御用絵師や文人などの作品）
- ② 工芸品（八代焼・小代焼などの陶磁器、刀剣や刀装具などの金工品、漆芸品、皮革・染織品など）
- ③ 書蹟・墨蹟
- ④ 加藤家・細川家ゆかりの美術品や資料

(3) 熊本の美術・文化・歴史に影響を与えた作家・人物・地域にゆかりの美術品や資料

(4) 熊本の美術・文化・歴史の展開を鑑賞・検証するために有効な資料

2 日本の近・現代美術

本県を代表する作家の作品を核に、日本の近・現代美術史を体系づけるコレクションおよび熊本の美術史を体系化するコレクションの形成を目指す。

(1) 熊本ゆかりの作家による近・現代洋画・日本画・版画・工芸・彫刻・デザイン・写真等の作品や資料

※なお、本県を代表する作家に関しては、デッサン・スケッチブック・書簡などの資料に関しても「研究資料」として積極的に収集を行うものとする。

※浜田知明作品に関しては、全作品の収集を目指す。

(2) 熊本を代表する近・現代作家に大きな影響を与えた作家の作品

(3) 近・現代美術史に大きな足跡をのこした作家による作品

(4) 当館における既存のコレクションを拡充・補完する上で必要な作品や資料

- ① 今西コレクションの近代版画・工芸・人形
- ② 細川コレクションの近代洋画・日本画
- ③ その他一括して収集されたコレクション

(5) 日本の近・現代版画

- ① 近代版画の動向を示す作品
- ② 戦後美術の版画表現に重要な足跡を残した版画家の作品
- ③ 今日の美術における版画表現の動向を示す作品
- ④ 上記の作品に関連する資料

3 西洋美術

フランスの近代絵画、西洋版画（古典～近代～現代）、近・現代彫刻の作品を核に、西洋美術コレクションの体系化を目指す。

(1) フランスの近代絵画

① 印象派と19世紀フランス絵画

印象派やその周辺、アカデミー派（サロン派）など、19世紀フランス絵画の局面を紹介する作品収集を図り、ルノワール等の所蔵品を補完する作品

② エコール・ド・パリと藤田嗣治（レオナール＝ツグハル・フジタ）

エコール・ド・パリやその周辺の動向など、20世紀前半のフランスを舞台に活動した芸術家たちの系譜と交流の軌跡を辿る作品。特に本県とゆかりの深い藤田嗣治（レオナール＝ツグハル・フジタ）は重点的収集を目指す。

(2) 西洋版画の系譜の体系化

① 16世紀から18世紀までの古典版画（Old Master Print）

② 19世紀から20世紀前半までの近代版画（Modern Print）

③ 20世紀後半以降の現代の版画動向を示す作品（Contemporary Print）

(3) 近・現代の西洋彫刻

① 近代フランスの彫刻

ロダン以降の近代彫刻史に大きな足跡を残した彫刻家の作品

② 現代の彫刻

20世紀後半以降の現代彫刻の動向を展望することのできる作品

(4) 上記の項目に関連の深い優れた西洋美術の作品や資料

4 優れた質と内容を有し、纏まった形で収集されたコレクション

■令和3年度美術品収集品目

□購入作品（令和3年度）

	作品名	作者名	品質形状	寸法（cm）	制作年
1	西南役熊本城籠城	近藤樵仙	絹本着色・掛幅装	縦141.0 x 横145.5	大正15年 (1926)
2	風景	青木彝蔵	油彩・キャンバス	縦45.7 x 横60.6	明治後期～大正初期 (20世紀)

□寄贈作品（令和3年度）

	作品名	作者名	品質形状	寸法（cm）	制作年
1	古賀コレクション 書画類一式	矢野派ほか	掛幅装ほか		江戸時代～大正時代（17～20世紀）
2	大久保コレクション 書画類一式	豪潮ほか	掛幅装		江戸時代～明治時代（17～19世紀）
3	船を漕ぐ人	海老原喜之助	墨・紙	縦20.1 x 横14.5	昭和35年（1960）

■収蔵品の概要

令和 4 年 (2022年)

3 月 31 日

■ 収蔵品一覧表 (令和4年(2022年)3月31日現在)

区分	県有美術品												基金財産			所蔵品計			寄託品			合計			
	購入			寄贈			保管転換			小計			R2年度	R3年度	小計	R2年度	R3年度	小計	R2年度	R3年度	小計	R2年度	R3年度	計	
	R2年度	R3年度	小計	R2年度	R3年度	小計	R2年度	R3年度	小計	R2年度	R3年度	小計													
日本 古美術	絵画	167		167	307	147	454				474	147	621	13		13	487	147	634	267		267	754	147	901
	書跡	182		182	393	90	483				575	90	665	17		17	592	90	682	336		336	928	90	1,018
	彫刻				1		1				1		1				1		1	48		48	49		49
	工芸(陶磁)	79		79	94		94				173		173	4		4	177		177	20		20	197		197
	工芸(他1)				2		2				2		2				2		2				2		2
	工芸(他2)	6		6	234		234				240		240	1		1	241		241	1,353		1,353	1,594		1,594
	考古																			9		9	9		9
	その他																			6		6	6		6
	計	434		434	1,031	237	1,268				1,465	237	1,702	35		35	1,500	237	1,737	2,039		2,039	3,539	237	3,776
日本 近現代	油彩画	73		73	426		426	6		6	505		505	36	1	37	541	1	542	17		17	558	1	559
	版画	113		113	749		749				862		862	17		17	879		879	4		4	883		883
	デッサン	38		38	292	1	293				330	1	331	2		2	332	1	333	4		4	336	1	337
	彫刻	38		38	35		35				73		73	31		31	104		104	1		1	105		105
	工芸	83		83	114		114				197		197	23		23	220		220	1		1	221		221
	日本画	160		160	163		163				323		323	17	1	18	340	1	341	17		17	357	1	358
	水彩画・その他	13		13	117		117				130		130	3		3	133		133	6		6	139		139
	計	518		518	1,896	1	1,897	6		6	2,420	1	2,421	129	2	131	2,549	3	2,552	50		50	2,599	3	2,602
東 洋	絵画	10		10	1		1				11		11				11		11	1		1	12		12
	書跡	2		2	2		2				4		4				4		4				4		4
	彫刻				1		1				1		1				1		1	1		1	2		2
	工芸(陶)				7		7				7		7				7		7				7		7
	工芸(他)	12		12	5		5				17		17				17		17				17		17
	考古				110		110				110		110				110		110				110		110
	その他				4		4				4		4				4		4				4		4
	計	24		24	130		130				154		154				154		154	2		2	156		156
西 洋	油彩画	5		5	3		3				8		8	6		6	14		14	3		3	17		17
	版画	138		138	102		102				240		240	11		11	251		251				251		251
	デッサン	1		1	1		1				2		2	2		2	4		4				4		4
	彫刻	8		8							8		8				8		8				8		8
	水彩画・その他	3		3	5		5				8		8	2		2	10		10				10		10
	計	155		155	111		111				266		266	21		21	287		287	3		3	290		290
美術資料				201		201				201		201	2		2	203		203				203		203	
合計	1,131		1,131	3,369	238	3,607	6		6	4,506	238	4,744	187	2	189	4,693	240	4,933	2,094		2,094	6,787	240	7,027	

令和3年度美術品貸出記録（館蔵品）

※令和3年度中に他館に貸し出し、令和4年度に展示された美術品を含む。なお、本リストに寄託品は含まれない。

作家名・文書名	作品名	貸出先	展覧会名	展覧会会期
無款	美人親月図	岡山県立美術館	熊本県立美術館所蔵 今西コレクション 肉筆浮世絵の名品展 アナザーワールド発見！	令和3年11月13日～12月19日
無款	猫と男女図			
無款	若衆図			
無款	太夫と禿図			
無款・信春	文使い図・俯臥美人読書図			
無款（菱川派）	遊船図			
無款（菱川派）	対鏡六美人図			
無款（菱川派）	福神美人道中図			
無款（菱川派）	髪結び図			
無款（菱川派）	太夫道中図			
上柿芳龍	追羽根美人図			
上柿芳龍	佳人読書図			
伝 古山師重	手毬遊びの図			
田村水鷗	美人訪廬図			
田村水鷗	梅軒読書図			
石川豊信	美人三番叟図			
石川豊信	萬歳図			
無款（懐月堂派）	立姿美人図			
梅祐軒勝信	立姿美人図			
近藤勝信	遊女と禿図			
竹田春信	蚊帳脇美人図			
無款	美人歩行図			
無款（鳥居派）	浮絵座敷水遊び図			
鳥居清重	佐野川市松立姿図			
鳥居清忠（四代）	歌舞伎暫図			
鳥居清忠（四代）	歌舞伎袴当不破図			
鳥居清忠（四代）	吉右衛門団七九郎兵衛図			
大岡道信	蚊帳脇喫煙美人図			
無款	忠臣蔵七段目図			
磯田湖龍齋	挿花美人図			
磯田湖龍齋	花魁道中図			
磯田湖龍齋	鯉魚図			
川又常行	緑先納涼美人図			
川又常行	望嶽一顰図			
川又常正	階下遊女図			
川又常正	見立浄瑠璃姫と牛若丸図			
川又常正	見立道風柳下美人図			
川又常正	那須与一扇の的図			
川又常正	節分図			
至信	見立玄宗図			
無款	振返る美人図			
宮川長春	振り返る遊女図			
宮川長春	乗鶴美人図			

令和3年度美術品貸出記録（館蔵品）

※令和3年度中に他館に貸し出し、令和4年度に展示された美術品を含む。なお、本リストに寄託品は含まれない。

作家名・文書名	作品名	貸出先	展覧会名	展覧会会期
宮川長春	聞香美人図	岡山県立美術館	熊本県立美術館所蔵 今西コレクション 肉筆浮世絵の名品展 アナザーワールド発見！	令和3年11月13日～12月19日
宮川一笑	夕涼み美人図			
勝川春好	五代目団十郎円窓景清図			
勝川春亭	懐紙を持つ芸妓図			
勝川扇里	浴衣美人図			
鳥文斎栄之	松風村雨図			
鳥文斎栄之	お多福図			
鳥文斎栄之	楊貴妃牡丹図			
鳥文斎栄之	桜下花魁図			
礫川亭一指	美人読書図			
礫川亭永掣	頭巾美人図			
高尾(酔夢亭)蕉扇	花魁立姿図			
豊川(鳥園齋)栄彦	見立女三の宮図			
豊川(鳥園齋)栄彦	立姿美人図			
玄珠齋栄暁	時鳥と芸妓図			
鎌形蕙齋	風景図			
鎌形蕙齋	隅田川図巻			
窪俊満	六歌仙図			
窪俊満	月萩図			
小川破笠	紫式部図			
高嵩谷	風流四睡図			
高嵩谷	鐘馗図			
鳥山石燕	旭日猿図			
喜多川歌麿他	四季面賛図（寄書）			
喜多川藤麿	母子探芒図			
喜多川藤麿	鎌を持つ美人図			
喜多川（墨亭）月	楼上芸妓図			
保明（喜多川派）	三曲図			
秀修（喜多川派）	振り向く芸妓図			
菊川英山	衿を直す芸妓図			
菊川英山	花魁書見図			
溪齋英泉	花魁と禿図			
葛飾北齋	鐘馗図			
蹄齋北馬	両国涼遊美人図			
蹄齋北馬	棧橋の芸妓図			
蹄齋北馬	阿古屋琴責め図			
蹄齋北馬	見立宇治川合戦蚩狩図			
蹄齋北馬	仲の町桜時美人図			
蹄齋北馬	正月風景図			
蹄齋北馬	橋上群衆図			
魚屋北溪	新春富嶽図			
葛飾（東南西）北	妓楼花魁図			
葛飾（紫光齋）北	雨乞小町図			

□令和3年度美術品貸出記録（館藏品）

※令和3年度中に他館に貸し出し、令和4年度に展示された美術品を含む。なお、本リストに寄託品は含まれない。

作家名・文書名	作品名	貸出先	展覧会名	展覧会会期
菱川宗理	雪中美人図	岡山県立美術館	熊本県立美術館所蔵 今西コレクション 肉筆浮世絵の名品展 アナザーワールド発見！	令和3年11月13日～12月19日
菱川宗理	扇面半身美人図			
八島岳亭（春信）	女三の宮図			
歌川豊春	帰り路図			
歌川豊広	謡曲隅田川図			
歌川豊広	関羽図			
歌川豊国	桜下花魁道中図			
鳥羽広丸	夏姿二美人図			
鳥羽広丸	歳末歳旦風俗図			
歌川豊国	松本幸四郎仁木弾正図			
東燕斎寛志	美人噴焰図			
歌川豊国	遠目鏡美人図			
歌川広重	不二望岳図			
歌川国芳	二枚梅花魁立姿図			
歌川国芳	鐘馗図			
歌川国継	義経と弁慶図			
歌川国直	芸妓と箱廻しの図			
歌川国明	月下美人図			
歌川直久	愛狗美人図			
歌川広重（二代）	日光の滝図			
歌川芳秀	海辺茶店図			
歌川国峰	潮干狩図			
天香豊	南蛮人図			
森玉僊	酔余美人図			
十返舎一九	吉備大臣図			
華清楼雀基	蛇の目傘美人図			
西川祐信	遊女道中図			
月岡雪鼎	牽牛織女図			
月岡雪鼎	西王母図			
月岡雪鼎	菊蕊童図			
耳鳥斎	地獄図巻			
祇園井特	三味線美人図			
祇園井特	歌妓恵以路図			
松好齋半兵衛	美人観月図			
春好齋北洲	芝翫舞台姿図			
長谷川雪旦	隅田川団十郎舟遊びの図			
長谷川雪旦	鶏銚行列図			
石田玉山	美人目隠し達磨図			
三島上龍	芸妓立姿図			
三島上龍	明石駅立場図			
三島上龍	犬と美人図			
吉原真龍	桜下美人図			
河鍋暁斎	閻魔庁図			

令和3年度美術品貸出記録（館蔵品）

※令和3年度中に他館に貸し出し、令和4年度に展示された美術品を含む。なお、本リストに寄託品は含まれない。

作家名・文書名	作品名	貸出先	展覧会名	展覧会会期
河鍋曉斎	牛若丸図	岡山県立美術館	熊本県立美術館所蔵 今西コレクション 肉筆浮世絵の名品展 アナザーワールド発見！	令和3年11月13日～12月19日
河鍋曉斎	恵美寿大黒天図			
豊原国周	内藤政拳肖像図			
小林永濯	草摺引き図			
牛島憲之	山の駅	久留米市美術館	開館5周年記念 九州洋画Ⅱ 大地の力	令和3年9月18日～12月12日
大塚耕二	出発			
三浦洋一	火口B（火山底）			
藏本朝美	水車	藏本朝美作品展実行委員会	藏本朝美展 PETROSPECTIVE KURAMOTO ASAMI —造形の美を求めて—	令和3年8月31日～9月5日
藏本朝美	祭			
藏本朝美	回帰			
浜田知明	風景	熊本市現代美術館	こわいな！恐怖の美術館	令和3年9月25日～12月5日
浜田知明	幻覚			
浜田知明	ややノイローゼ気味			
浜田知明	叫び			
浜田知明	心情不安定			
浜田知明	かけ			
浜田知明	行き止まり			
浜田知明	いらいら (C)			
浜田知明	情報過多の人間			
浜田知明	悩ましい夜			
狩野言信	住吉社頭図			
海老原喜之助	「一週一景」 江津湖の味	肥後の里山ギャラリー	熊本の水と緑Ⅵ 湧水潤う水辺 水前寺・江津湖 —水が育む風景と歴史遺産—	令和4年3月19日～5月7日
海老原喜之助	「一週一景」 冬の江津湖			
海老原喜之助	「一週一景」 月夜の湖（江津湖）			

■購入・寄贈図書目録 [令和3年度]

<購入図書>※備品購入費による

書名	編・著者名	発行所	発行年
日本美術 美術運動 日本美術会機関紙誌 復 刻版	日本美術会, 科学振興社, 昭 森社	三人社	2020年
短冊手鑑	小松茂美	講談社	1983年
肥後文教と其城府の教育	野田寛口述・山本十郎編	熊本市教育委員会	1956年

<友の会から寄贈された図書>

書名	編・著者名	発行所	発行年
中国絵画総合図録三編 第六卷 総索引		東京大学出版会	2020年
日本彫刻史基礎資料集成 鎌倉時代造像銘記扁十四		中央公論出版	2018年
桃山文化期漆工の研究	北野信彦	雄山閣	2018年

■委員会等名簿

□熊本県立美術館協議会委員名簿

令和4年3月31日現在

氏名	役職名
河野 景治	熊本県立美術館友の会世話人
清川 真潮	島田美術館事務局長
米野 真理子	一般社団法人日本ソムリエ協会理事
坂本 ミオ	男女共同参画センターはあもにい館長
田端 文一	熊本博物館長
堤 純子	緋月酒造株式会社 代表取締役社長
◎中村 賢次	崇城大学芸術学部美術学科教授
平木 美和	熊本市立芳野中学校長
藤井 千秋	県PTA連合会教養委員会委員長
松本 弘士	県高等学校教育研究会美術、工芸部会理事長(県立鹿本高等学校教諭)
村上 正祐	県図画工作・美術教育研究会会長(熊本市立尾上小学校長)
吉田 孝平	前熊本県議会教育警察常任委員会委員長

(五十音順、◎会長)

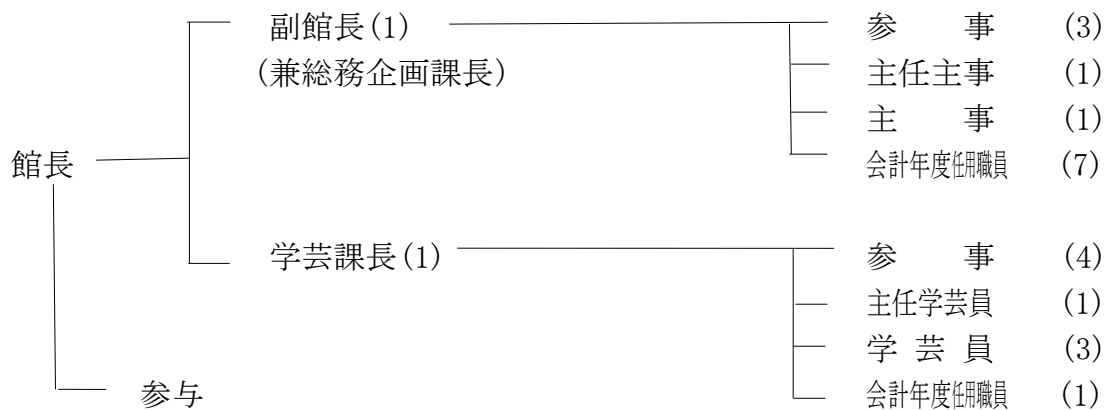
□熊本県立美術館収集委員会委員名簿

令和4年3月31日現在

氏名	役職名
石井 祐子	九州大学基幹教育院 人文社会科学部門 准教授
竹口 浩司	広島市現代美術館 学芸担当課長
竹原 明理	熊本博物館 学芸員
中村 賢次	崇城大学芸術学部長、美術学科教授
中山 喜一郎	福岡市美術館 総館長
林 千寿	八代市立博物館 学芸課参事
森山 秀子	久留米市美術館 副館長兼学芸課長
◎山下 弘子	坂本善三美術館 学芸員

(五十音順、◎委員長)

□熊本県立美術館の機構及び職員数（令和4年3月31日現在）



□美術館職員名簿（令和4年3月31日現在）

氏名	職名	氏名	職名
野尾 晴一朗	館長	宮川 聖子	主任学芸員
宮尾 千加子	参与	萬納 恵介	学芸員
桑原 博史	副館長（総務企画課長）	山中 理彩子	学芸員
有木 芳隆	学芸課長	香月 比呂	学芸員
浪野 扶美子	参事		
齊藤 修	参事	野中 彩能	会計年度任用職員
松崎 恵	参事	福嶋 昭二郎	会計年度任用職員
井川 直子	主任主事	友田 俊司	会計年度任用職員
大村 郁敬	主事	松山 比呂美	会計年度任用職員
福田 友子	参事	中西 野絵	会計年度任用職員
林田 龍太	参事	峯浦 暢香	会計年度任用職員
金子 岳史	参事	関本 敏博	会計年度任用職員
才藤 あずさ	参事	高森 荘子	会計年度任用職員

■その他

□熊本県立美術館友の会の活動

美術館友の会は、県立美術館の活動を援助し、美術館の充実と地域文化の向上に寄与することを目的として、昭和50年5月に発足した。平成27年には、設立40周年となり、設立40周年記念事業や祝賀会などを開催した。

友の会は県立美術館開館以来美術関連図書などを寄贈し調査研究等に貢献してきた。会員は、「会員証」を提示することで、県立美術館をはじめとする県内外計12館において、展覧会を割引料金（団体料金）で鑑賞することができる。また、機関誌「V i e w」や友の会のお知らせを受け取ることができる。

特典

① 次の美術館に割引料金（団体料金）で入場できる。

県内：熊本県立美術館、熊本市現代美術館、坂本善三美術館、つなぎ美術館、不知火美術館、島田美術館、芦北町立星野富弘美術館

県外：大分県立美術館、長崎県美術館、長崎歴史文化博物館、長崎近代交流史と孫文・梅吉庄吉ミュージアム、九州国立博物館（文化交流展）

② 熊本県立美術館の展覧会図録を開催期間中購入2割引。

③ 熊本県立美術館の本館・分館喫茶室割引有。

④ 友の会企画の国内・海外旅行に参加できる。

（令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり実施を見送った。）

会員数(令和4年3月現在)

計280口

A会員	37口	会費	10,000円	(会員証3枚)
B会員	243口		5,000円	(会員証1枚)

活動状況

・機関誌「V i e w」4回発行（美術館との共同編集）

・図書購入・寄贈

『美術品所蔵レファレンス事典 西洋絵画篇』、『日本彫刻史基礎資料集成 鎌倉時代造像銘記篇第12巻』、『ボストン美術館日本美術総合調査図録』、『近世公武の奥向構造』、『室町水墨画論集』、『江戸城御殿の構造と儀礼の研究』

・次年度会員拡大に向けて「熊本県立美術館友の会」案内チラシ（A4両面カラー）の作成配布

令和3年度役員

代表世話人	福田 稠
副代表世話人	松木良介、河島一夫
監 事	池田耕一、河野景治
世 話 人	宮尾千加子、坂田燦、河島美智奈、二子石義之、高田浩子、村上了一、小坂肇、林田勉、木下修、森本清子、平井勝典、井上正敏、岡田直幸、中熊則子、長崎健一
名誉世話人	樋口欣一、芹川光行

□美術館案内

熊本県立美術館本館

Kumamoto Prefectural Museum of Art

所在地: 熊本市中心区二の丸2番 〒860-0008

Tel 096-352-2111 Fax 096-326-1512

開館時間: 午前9時30分～午後5時15分(入館は午後4時45分まで)

交通案内: バス/「熊本桜町バスターミナル」で下車、城彩苑内を通過して徒歩15分。または「熊本桜町バスターミナル」で熊本城周遊バス(しろめぐりん)に乗り換え、「熊本城・二の丸駐車場」で下車、徒歩3分

市電/「市役所前」または「花畑町」下車、徒歩15分

JR/「熊本駅」から熊本城周遊バス(しろめぐりん)に乗車、「熊本城・二の丸駐車場」で下車、徒歩3分。「上熊本駅」からタクシーで10分

熊本空港/空港バスで桜町バスターミナルへ。バスターミナルから徒歩15分。またはバスターミナルで熊本城周遊バスに乗り換え、「熊本城・二の丸駐車場」下車、徒歩3分

駐車場/二の丸駐車場(有料)、三の丸駐車場(有料)

休館日: 月曜日(祝日・休日の場合はその翌日)、年末年始 他

熊本県立美術館分館

Kumamoto Prefectural Museum of Art, Chibajo Branch

所在地: 熊本市中心区千葉城町2-18 〒860-0001

Tel 096-351-8411 Fax 096-351-8566

開館時間: 火曜～金曜/午前9時30分～午後6時30分(入館は午後6時まで)

土日祝日・休日/午前9時30分～午後5時15分(入館は午後4時45分まで)

交通案内: バス/「市役所前」下車、徒歩5分

または熊本城周遊バスで「県立美術館分館横」下車

市電/「市役所前」下車、徒歩5分

休館日: 月曜日(祝日・休日の場合はその翌日)、年末年始 他

インターネットアドレス

<https://www.museum.pref.kumamoto.jp>

